



Cisco Firepower 4112、4115、4125、4145 ハードウェア設置ガイド

初版：2019年6月20日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター
0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2019-2023 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目次

第 1 章

概要 1

機能 1

展開オプション 5

パッケージの内容 6

シリアル番号の場所 7

前面パネル 9

前面パネル LED 11

背面パネル 12

ネットワーク モジュール 14

10 Gb ネットワークモジュール 14

40 Gb ネットワークモジュール 16

100 Gb ネットワークモジュール 17

ハードウェア バイパス ネットワーク モジュール 19

ハードウェアバイパス対応 1 Gb ネットワークモジュール 20

ハードウェアバイパス対応 40 Gb ネットワークモジュール 22

ハードウェアバイパス対応 1-Gb SX/10-Gb SR/10-Gb LR ネットワークモジュール 24

電源モジュール 27

ファンモジュール 29

サポートされる SFP/SFP+ と QSFP トランシーバ 30

ハードウェア仕様 33

製品 ID 番号 34

電源コードの仕様 38

第 2 章

インストールの準備 45

設置に関する警告	45
安全に関する推奨事項	47
電気製品を扱う場合の注意	48
静電破壊の防止	48
設置場所の環境	49
サイトの考慮事項	49
電源モジュールに関する考慮事項	49
ラックの構成に関する考慮事項	50

第 3 章	シャーシのラックマウントとアース	51
	シャーシの開梱と確認	51
	シャーシのラックマウント	52
	シャーシの接地	57

第 4 章	設置、メンテナンス、アップグレード	59
	ネットワークモジュールの取り付け、取り外し、交換	59
	ファンモジュールの取り外しと交換	63
	SSD の取り外しと交換	65
	電源モジュールの取り外しと交換	68
	DC 電源モジュールの接続	73
	AC 電源モジュールの電源コードの保護	79
	FIPS 不透明シールドの取り付け	83



第 1 章

概要

- 機能 (1 ページ)
- 展開オプション (5 ページ)
- パッケージの内容 (6 ページ)
- シリアル番号の場所 (7 ページ)
- 前面パネル (9 ページ)
- 前面パネル LED (11 ページ)
- 背面パネル (12 ページ)
- ネットワーク モジュール (14 ページ)
- ハードウェア バイパス ネットワーク モジュール (19 ページ)
- 電源モジュール (27 ページ)
- ファン モジュール (29 ページ)
- サポートされる SFP/SFP+ と QSFP トランシーバ (30 ページ)
- ハードウェア仕様 (33 ページ)
- 製品 ID 番号 (34 ページ)
- 電源コードの仕様 (38 ページ)

機能

Cisco Firepower 4100 は、スタンドアロンのモジュラ セキュリティ サービス プラットフォームです。複数のセキュリティ サービスを同時に実行できるため、マルチサービスプラットフォームとしてデータセンターでの利用を目的としています。このシリーズには、Firepower 4112、4115、4125、および 4145 が含まれています。4100 シリーズに関連付けられる製品 ID (PID) の一覧については、[製品 ID 番号 \(34 ページ\)](#) を参照してください。

Firepower 4100 は Cisco Secure Firewall Threat Defense、Cisco Secure Firewall eXtensible Operating System (FXOS)、Cisco Secure Firewall ASA ソフトウェアに対応しています。『[Cisco Firepower 4100/9300 FXOS Compatibility](#)』をご覧ください。Firepower 4100 シリーズのソフトウェアおよびハードウェアの互換性に関する情報を確認いただけます。

次の図は、Firepower 4100 を示しています。

図 1: Firepower 4100



次の表に、Firepower 4100 の機能を示します。

表 1: Firepower 4100 の機能

機能	4112	4115	4125	4145
フォームファクタ	1 RU 標準の 48.3 cm (19 インチ) 角穴ラックに対応			
ラック マウント	スライドレール、マウントイヤー、ネジを同梱 (4 本支柱型 EIA-310-D ラック)			
エアフロー	前面から背面 コールドアイルからホットアイルへ			
プロセッサ	1 X 12 コア 2.1 GHz Intel Xeon 4116	2 つの 12 コア 2.1 GHz Intel Xeon 4116	2 つの 16 コア 2.1 GHz Intel Xeon 6130T	2 つの 22 コア 2.1 GHz Intel Xeon 6152
メモリ	96 GB DRAM 6 X 16 GB DDR4-2400	192 GB DRAM 12 X 16 GB DDR4-2400	192 GB DRAM 12 X 16 GB DDR4-2666	384 GB DRAM 12 X 32 GB DDR4-2666
インターフェイスの最大数	24 2 つの 8 ポートネットワーク モジュールがインストール済み			
管理ポート	1 つのギガビット イーサネット 1 Gb ファイバまたは銅 SFP をサポート			
シリアルポート	1 つの RJ-45 コンソール			
USB ポート	1 つの USB 2.0 タイプ A			
ネットワークポート	8 つの固定 1 GB および 10 GB SFP+ ポート (イーサネット 1/1 ~ 1/8 と命名)			

機能	4112	4115	4125	4145
Small Form-Factor Pluggable (SFP) ポート	8つの固定1GBおよび10GB SFP+ ポート			
引き出しアセットカード	シリアル番号を前面パネルに表示			
アース ラグ	背面パネル			
ロケータ ビーコン	前面パネル			
電源スイッチ	背面パネル			
ネットワーク モジュール	2つのネットワークモジュールスロット (ネットワークモジュール2およびネットワークモジュール3)			
サポートされるネットワーク モジュール	<ul style="list-style-type: none"> • 8ポート 10ギガビットイーサネット SFP+ • 4ポート 40ギガビットイーサネット QSFP+ • 2ポート 100ギガビットイーサネット QSFP28 <p>(注) Threat Defense 7.3.1 および ASA 9.18.1 で初めてサポートされました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ハードウェアバイパス対応 8ポート 1ギガビットイーサネット銅線 • ハードウェアバイパス対応 2ポート 40ギガビットイーサネット QSFP+ (組み込み型) • ハードウェアバイパス対応 6ポート 1ギガビットイーサネット SXファイバ SFP+ (組み込み型) • ハードウェアバイパス対応 6ポート 10ギガビットイーサネット SRファイバ SFP+ (組み込み型) • ハードウェアバイパス対応 6ポート 10ギガビットイーサネット LRファイバ SFP+ (組み込み型) 			
AC 電源装置	2つの電源モジュールスロット (1+1) 1つの 1100W AC 電源モジュール付きで出荷 ホットスワップ対応		2つの電源モジュールスロット (1+1) 2つの 1100W AC 電源モジュール付きで出荷 ホットスワップ対応	

機能	4112	4115	4125	4145
DC 電源 (オプション)	2つの電源モジュールスロット (1+1) 950 W DC 電源モジュール ホットスワップ対応			
冗長電源	1+1			
ファン	6つのファンモジュールスロット 5+1の冗長性 ホットスワップ対応			
ストレージ	2つのSSDスロット スロット1に1台の400GB SSDが取り付けられた状態で出荷。スロット1はプライマリSSDであり、常に存在している必要があります。スロット1は、論理デバイスアプリケーションインスタンス (脅威防御またはASA) 用に予約されています。 (注) RAIDはサポートされていません。 注意 SSDは、スロット1に取り付ける必要があります。スロット2は、オプションのマルウェアストレージパック (MSP) 専用予約されています。		2つのSSDスロット スロット1に1台の800GB SSDが取り付けられた状態で出荷。スロット1はプライマリSSDであり、常に存在している必要があります。スロット1は、論理デバイスアプリケーションインスタンス (脅威防御またはASA) 用に予約されています。 (注) RAIDはサポートされていません。 注意 SSDは、スロット1に取り付ける必要があります。スロット2は、オプションのMSP専用予約されています。	
MSP (オプション)	2番目のSSDスロットのみにインストール			
Network Equipment Building Systems (NEBS) 認定	—	—	認定	—

機能	4112	4115	4125	4145
セキュリティ規格 および認定	—	<ul style="list-style-type: none"> • ASA 9.16.x の Network Device Collaborative Protection Profile (NDcPPv2.2E)、VPN Gateway Module (VPNGW_MOD_v1.1)、Firewall Module (FW_MOD_v1.4e) のコモンクライテリア (CC) 認定 • FTD 6.2.x のコモンクライテリア (CC) および Commercial Solutions for Classified (CSFC) • ASA 9.12.x および FX-OS 2.6.x の Network Device Collaborative Protection Profile (NDcPPv2.1) の CC • ASA 9.12.x、FTD 6.4.x、および FX-OS 2.6.x の連邦情報処理標準 (FIPS) 140-2 • ASA 9.12.x および FTD 6.4.x の米国国防総省情報ネットワークの認定製品リスト (DoDIN APL) • ASA 9.8.x および FTD 6.2.x の IPv6 の米国政府基準への適合 (USGv6) <p>(注) Firepower 4112 は、上記の認定をまだ完了していません。</p> <p>(注) セキュリティモードを有効にする手順については、『Cisco FXOS CLI Configuration Guide』または『Cisco FXOS Firepower Chassis Manager Configuration Guide』の「Security Certifications Compliance」の章を参照してください。</p>		

展開オプション

Firepower 4100 を展開する方法の例をいくつか示します。

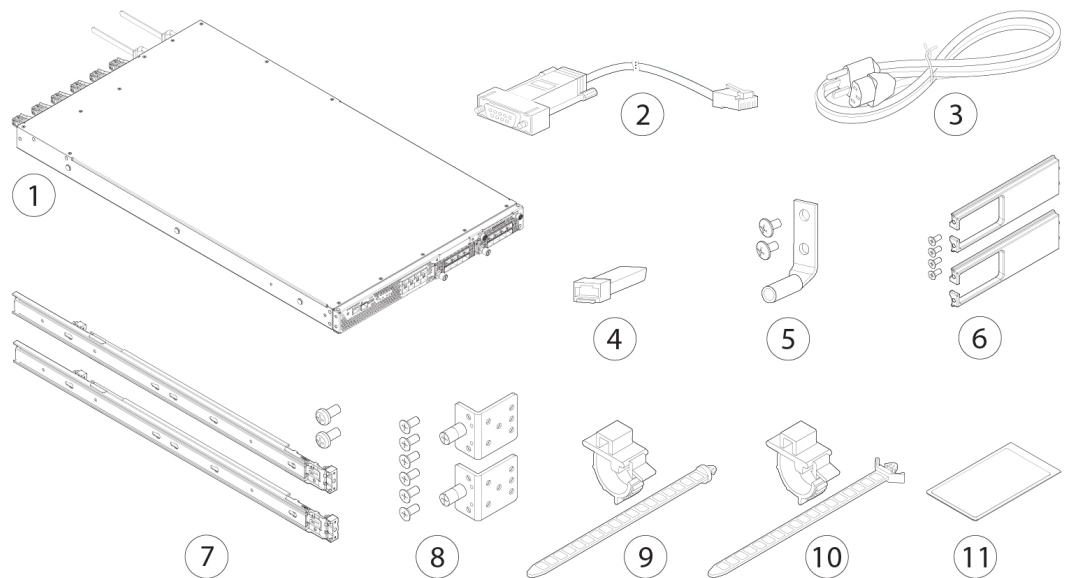
- NGFW および ASA を使用するデータセンター内
- ハイアベイラビリティ構成の 3 層データセンターのコア/アグリゲーションレイヤに配置。
- アクセスレイヤの統合インフラストラクチャスタック (vBlock、FlexPod など) 内に、専用の多機能セキュリティサービスとして配置
- ハイアベイラビリティ構成の WAN エッジとデータセンターコア間に、高性能のデータセンターセキュリティアプライアンスとして配置。

- DC 間クラスタリングの導入
- 新しいスパイン/リーフのデータセンター設計では、セキュリティ機能を排他的に提供するリーフとして導入

パッケージの内容

次の図は、Firepower 4100 のパッケージの内容を示しています。内容は変更されることがあり、実際の内容には品目の追加や削減の可能性があるのでご注意ください。

図 2: Firepower 4100 パッケージの内容



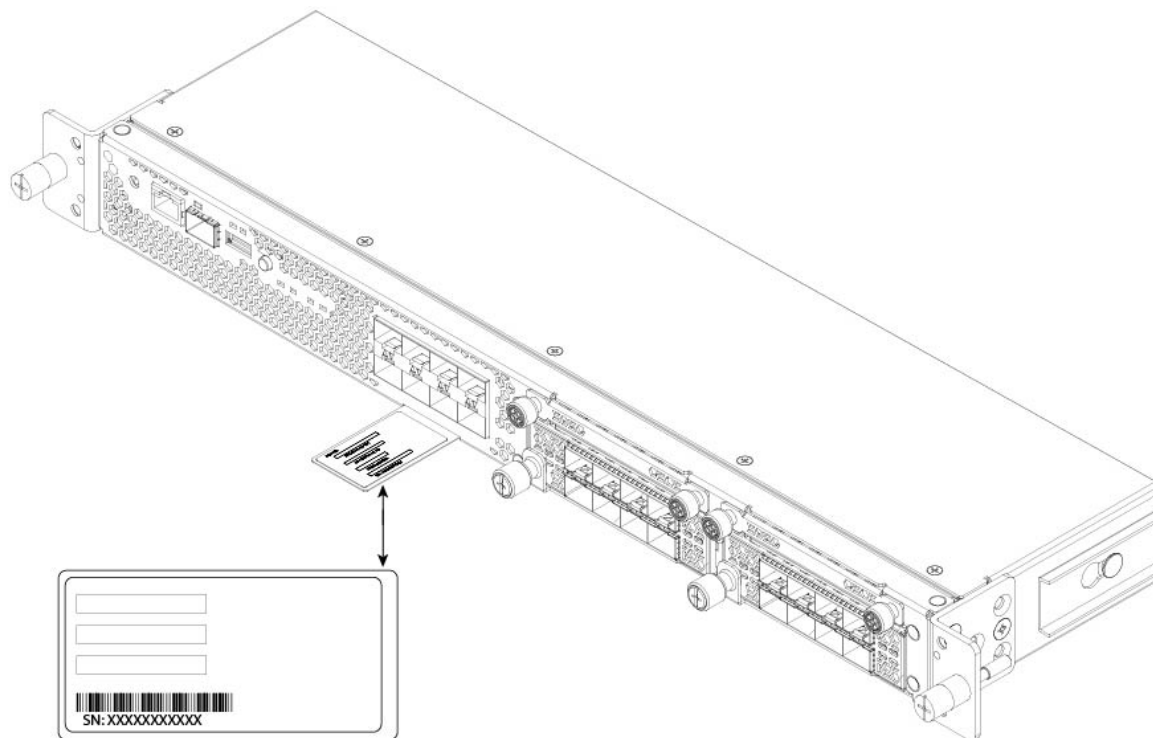
1 Firepower 4100 シャーシ	2 青いコンソールケーブルの PC ターミナルアダプタ (部品番号 72-3383-01)
3 2 本の電源コード (国別) 対応している電源コードのリストについては、 電源コードの仕様 (38 ページ) を参照してください。	4 10/100/1000BASE-T SFP トランシーバ

5	<p>アースラグキット（部品番号 69-1000359-01）：</p> <ul style="list-style-type: none"> • アースラグ 1 個 #6 AWG、90 度、#10 支柱（部品番号 32-0608-01） • 10-32 x 39-8 インチプラスネジ 2 本（部品番号 48-0700-01） 	6	<p>ケーブル管理ブラケットキット（部品番号 69-100376-01）</p> <ul style="list-style-type: none"> • ケーブル管理ブラケット 2 個（部品番号 700-106377-01） • 8-32 X 0.375 インチプラスネジ 4 本（部品番号 48-2696-01）
7	<p>スライドレール 2 個と M3 X 0.5 X 6 mm ネジ 2 本（48-101144-01）</p>	8	<p>スライドレール固定ブラケット 2 個（部品番号 700-105350-02）</p> <p>8-32 X 0.375 インチプラスネジ 6 本（部品番号 48-2696-01）</p>
9	<p>Artesyn タイラップおよびタイラップランプ（部品番号 52-100204-01）</p>	10	<p>Flextronics タイラップおよびタイラップランプ（部品番号 52-100202-01）</p>
11	<p><i>Cisco Secure Firepower 4100</i></p> <p>このドキュメントには、デジタルドキュメントポータルを指す URL と QR コードが含まれています。このポータルには、製品情報ページ、ハードウェア設置ガイド、規制および安全情報ガイド、スタートアップガイド、および簡単導入ガイドへのリンクが含まれています。</p>		

シリアル番号の場所

Firepower 4100 シリーズシャーシのシリアル番号は、前面パネルの引き出しアセットカードに記載されています。

図 3: 4100 シャーシのシリアル番号



シャーシの下にあるコンプライアンス ラベルで追加のモデル情報を見ることができます。

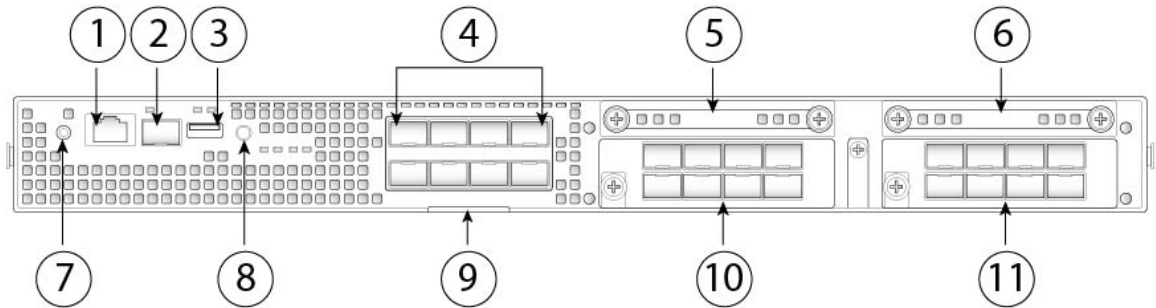
図 4: 4100 シャーシのコンプライアンス ラベル



前面パネル

次の図は、Firepower 4100 の前面パネルを示しています。

図 5: Firepower 4100 の前面パネル



1	RJ-45 コンソール ポート	2	ギガビット イーサネット管理ポート
3	USB 2.0 タイプ A ポート	4	8 つの固定 SFP+ (1-Gb/10-Gb) ポート (ネットワーク モジュール スロット 1 内) イーサネット 1/1 ~ 1/8 (上から下、左から右にラベル付け)
5	SSD 1 プライマリ SSD 用に予約済み。スロット 1 は常に装着されている必要があります。	6	SSD 2 オプションの MSP 用に予約されています。
7	電源 LED	8	ロケータ LED
9	引き出しアセットカード	10	ネットワーク モジュール 2 (注) 10-Gb ネットワーク モジュールを示しています。
11	ネットワーク モジュール 3 (注) 10-Gb ネットワーク モジュールを示しています。		

RJ-45 コンソール ポート

Firepower 4100 には標準の RJ-45 コンソールポートがあります。ターミナルサーバーを使用するか、コンピュータ上で端末エミュレーションプログラムを使用することにより、RJ-45 シリアルコンソールポートを介して、CLI から Firepower 4100 を設定できます。

RJ-45 (8P8C) ポートは、内部 UART コントローラにシグナリングする RS-232 をサポートします。コンソールポートはハードウェアフロー制御機能を備えておらず、リモート

ダイヤルインモデムもサポートしていません。ボーレートは9600です。必要に応じて、標準のケーブル（アクセサリキットに付属）を使用して、RJ-45をDB-9に変換できます。

タイプ A USB ポート

外部タイプ A の USB ポートを使用して、データストレージデバイスに接続できます。外部 USB ドライブ識別子は `disk1:` です。タイプ A ポートは以下をサポートしています。

- ホットスワップ
- FAT32 でフォーマットされた USB ドライブ
- ディスカバリ リカバリ プロセスのためのスーパーバイザ ROMMON からのキックスタート イメージの起動
- `workspace:/` および `local-mgmt` 内の `volatile:/` への（からの）ファイルのコピー。最も関連があるファイルは次のとおりです。
 - コア ファイル
 - Ethalyzer のパケット キャプチャ
 - テクニカル サポート ファイル
 - セキュリティ モジュール ログ ファイル
- **download image usbA:** を使用したプラットフォームバンドル イメージのアップロード

タイプ A の USB ポートは、Cisco Secure Package (CSP) イメージのアップロードをサポートしていません。

ネットワーク ポート

Firepower 4100 シャーシには、1 Gb/10 Gb SFP/SFP+ トランシーバ（光ファイバまたは銅ケーブル）用の 8 つの固定ポートがあります。ポートには、左から右に 1 から始まる番号が付けられています（イーサネット 1/1 ~ イーサネット 1/8）。Firepower 4100 には、ネットワークモジュールに応じて異なるポート数をサポートする 2 つのネットワークモジュールスロットもあります。サポートされるネットワークモジュールについては、[ネットワークモジュール \(14 ページ\)](#) を参照してください。サポートされるトランシーバの一覧については、[サポートされる SFP/SFP+ と QSFP トランシーバ \(30 ページ\)](#) を参照してください。

各ポートには、リンク/アクティビティのステータスを示す LED があります。

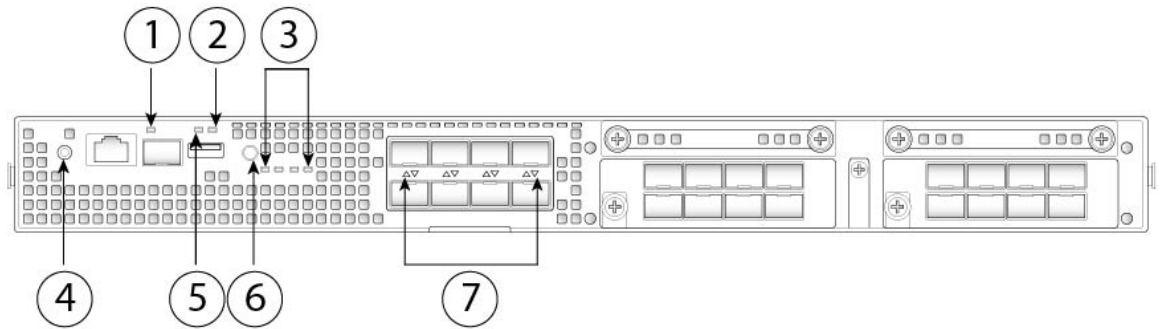
管理ポート

Firepower 4100 シャーシは、管理ポートを備えており、1 Gb 光ファイバまたは銅 SFP をサポートします。

前面パネル LED

次の図および表に、Firepower 4100 の前面パネルの LED の説明を示します。

図 6: 前面パネル LED



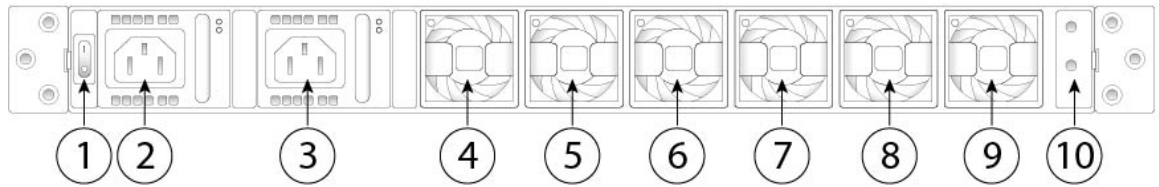
<p>1 管理</p> <ul style="list-style-type: none"> • オフ：接続なし、またはポート未使用。 • オレンジ：リンクなし、またはネットワーク障害。 • 緑：リンク アップ。 • 緑（点滅）：ネットワーク アクティビティ。 	<p>2 状況（SYS）</p> <ul style="list-style-type: none"> • オフ：システムはまだ起動していません。 • 緑（点滅）：電源投入診断は完了し、システムが起動しています。 • 緑：システムがパワーオン診断に合格したときは緑に点灯しています。 • オレンジ：電源投入診断に失敗しました。 • オレンジ（点滅）：アラーム。電源投入診断を実行しています。
---	---

<p>3 SSD</p> <ul style="list-style-type: none"> • オフ：SSDがありません。 • 緑：SSDはありますが、アクティビティがありません。 • 緑（点滅）：SSDはアクティブです。 • オレンジ：SSD障害。 • オレンジ色で点滅：リビルト中、1Hzで点滅。 • オレンジ（点滅）：予測障害分析（PFA）およびホットスペア。4 Hzで2度、0.5秒間隔で高速点滅。 	<p>4 電源</p> <ul style="list-style-type: none"> • オフ：入力電源が検出されていません。 • 緑（点滅）：電源スイッチをオンからオフに動かしたときにのみ出現します。システムはシャットダウン中です。シャットダウンが完了すると電源がオフになります。 • オレンジ：システムが起動中です。 • 緑：システムの電源が完全に入っています。 • オレンジ（点滅）：予約済み。
<p>5 アクティブ（ACT）</p> <p>このLEDはサポートされていません。将来使用するために予約されています。</p>	<p>6 ロケータ LED</p> <ul style="list-style-type: none"> • オフ：位置特定はオフになっています。 • 青：位置特定はオンになっています。
<p>7 ネットワーク アクティビティ</p> <ul style="list-style-type: none"> • オフ：接続なし、またはポート未使用。 • オレンジ：リンクなし、またはネットワーク障害。 • 緑：リンクアップ。 • 緑（点滅）：ネットワーク アクティビティ。 	

背面パネル

次の図は、Firepower 4100 の背面パネルを示しています。

図 7: Firepower 4100 の背面パネル



1	電源オン/オフ スイッチ	2	電源モジュール 1
3	電源モジュール 2	4	ファン モジュール 1
5	ファン モジュール 2	6	ファン モジュール 3
7	ファン モジュール 4	8	ファン モジュール 5
9	ファン モジュール 6	10	2 本支柱型のアース ラグの場所 (注) 2 本支柱型のアース ラグは、アクセサリ キットに含まれています。

電源スイッチは、シャーシの背面の電源モジュール1の左にあります。これはシステムへの電源を制御するトグルスイッチです。電源スイッチがスタンバイの位置にある場合は、3.3 V のスタンバイ電源ユニットのみが電源モジュールから有効化され、12Vの主電源はオフになります。スイッチがオンの位置にある場合は、12 V の主電源がオンになり、システムが起動します。

次のいずれかの方法でシャーシをシャットダウンできます。

- **shutdown** コマンドを使用してグレースフルシャットダウンを実行します(手順については、『[FXOS CLI Configuration Guide](#)』を参照してください)。終了するまでに数分かかる場合があります。次に、電源スイッチをオフの位置に切り替えます。電源 LED が緑色の点灯からすぐにオフに変わります。



注意 shutdown コマンドシーケンスが完了する前に電源スイッチをオフの位置に動かしたり、グレースフルシャットダウンが完了する前にシステムの電源コードを取り外したりすると、ディスクが破損することがあります。

- 電源スイッチをオフの位置に切り替えます。電源 LED が緑色の点灯からオフに変わります。



(注) 電源スイッチをオフに動かさず電源コードを取り外してシャーシへの電力供給を遮断した後は、少なくとも 10 秒間待機してから電源を再投入してください。

ネットワーク モジュール

Firepower 4100 には、光または電気ネットワーク インターフェイスを備えた 2 つのネットワーク モジュール スロットがあります。ネットワーク モジュールは、追加のポートまたは異なるインターフェイスのタイプ (1/10/40Gb) を提供する、オプションの取り外し可能な I/O モジュールです。Firepower ネットワーク モジュールは、前面パネルのシャーシに接続します。

詳細情報

- 10 GB ネットワーク モジュールの説明については、[10 Gb ネットワークモジュール \(14 ページ\)](#) を参照してください。
- 40 GB ネットワーク モジュールの説明については、[40 Gb ネットワークモジュール \(16 ページ\)](#) を参照してください。
- 2 ポート 100 Gb ネットワークモジュールの説明については、[100 Gb ネットワークモジュール \(17 ページ\)](#) を参照してください。
- ハードウェア バイパスのネットワーク モジュールの LED の場所と説明、およびポートの設定については、[ハードウェア バイパス ネットワーク モジュール \(19 ページ\)](#) を参照してください。
- ネットワーク モジュールの取り外しと交換の手順については、[ネットワークモジュールの取り付け、取り外し、交換 \(59 ページ\)](#) を参照してください。

10 Gb ネットワークモジュール

次の図は、10Gb ネットワーク モジュールの前面パネルを示しています (FPR4K-NM-8X10G)。FPR4K-NM-8X10G は、ホットスワップをサポートするシングル幅モジュールです。8 つのポートの番号付けは、上から下、左から右という順序になっています。



-
- (注) このネットワークモジュールに対応する正しいファームウェアパッケージとソフトウェアバージョンがインストールされていることを確認してください。ファームウェアパッケージのバージョンを確認する方法、および必要に応じてファームウェアをアップグレードする方法については、『[Cisco Firepower 4100/9300 FXOS Firmware Upgrade Guide](#)』 [英語] を参照してください。ソフトウェア互換性マトリックスについては、『[Cisco Firepower 4100/9300 FXOS Compatibility](#)』 [英語] を参照してください。
-

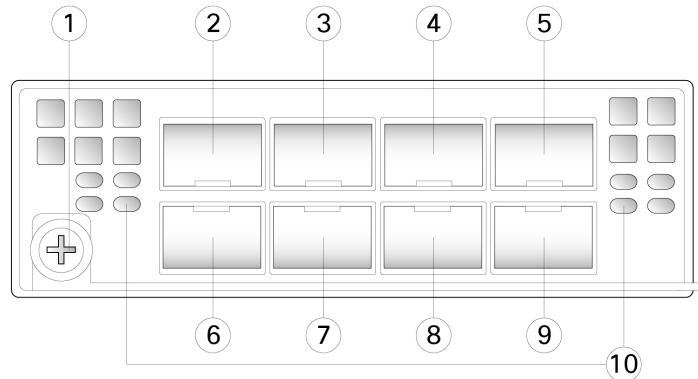


-
- (注) FPR4K-NM-8X10G は、NEBS 準拠です。
-



(注) 上の列のポートまたは下の列のポートのどちらかに4つの銅線 SFP を適合させることができます。ポート列間隔のため、両方の列に同時に装着することはできません。

図 8: FPR4K-NM-8X10G



1	非脱落型ネジ/ハンドル	2	イーサネット X/1
3	イーサネット X/3	4	イーサネット X/5
5	イーサネット X/7	6	イーサネット X/2
7	イーサネット X/4	8	イーサネット X/6
9	イーサネット X/8	10	ネットワーク アクティビティ LED <ul style="list-style-type: none"> ・オフ：接続なし、またはポート未使用。 ・オレンジ：リンクなし、またはネットワーク障害。 ・緑：リンク アップ。 ・緑（点滅）：ネットワーク アクティビティ。

詳細情報

- 銅線 SFP の一覧については、[サポートされる SFP/SFP+ と QSFP トランシーバ \(30 ページ\)](#) を参照してください。

40 Gb ネットワークモジュール

次の図は、40 Gb ネットワークモジュールの前面パネルを示しています（FPR4K-NM-4X40G。）
FPR4K-NM-4X40G は、ホットスワップをサポートするシングル幅モジュールです。4つのポートには番号が付いています（左から右）。

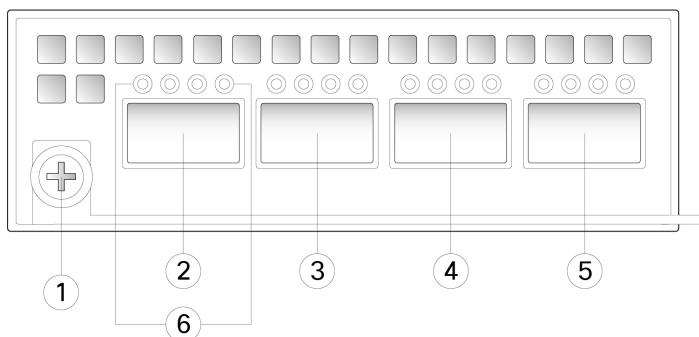


- (注) このネットワークモジュールに対応する正しいファームウェアパッケージとソフトウェアバージョンがインストールされていることを確認してください。ファームウェアパッケージのバージョンを確認する方法、および必要に応じてファームウェアをアップグレードする方法については、『[Cisco Firepower 4100/9300 FXOS Firmware Upgrade Guide](#)』[英語]を参照してください。ソフトウェア互換性マトリックスについては、『[Cisco Firepower 4100/9300 FXOS Compatibility](#)』[英語]を参照してください。



- (注) FPR4K-NM-4X40G は NEBS 準拠です。

図 9: FPR4K-NM-4X40G



1	非脱落型ネジ/ハンドル	2	ネットワーク アクティビティ LED <ul style="list-style-type: none"> • オフ：接続なし、またはポート未使用。 • オレンジ：リンクなし、またはネットワーク障害。 • 緑：リンク アップ。 • 緑（点滅）：ネットワーク アクティビティ。 • 40 Gb：ポートステータスを示すのは左端の LED のみです。 • 4 X 10 Gb：各ポート LED は、それぞれの 10 Gb チャネルのステータスを示します。
3	イーサネット X/1	4	イーサネット X/2
5	イーサネット X/3	6	イーサネット X/4

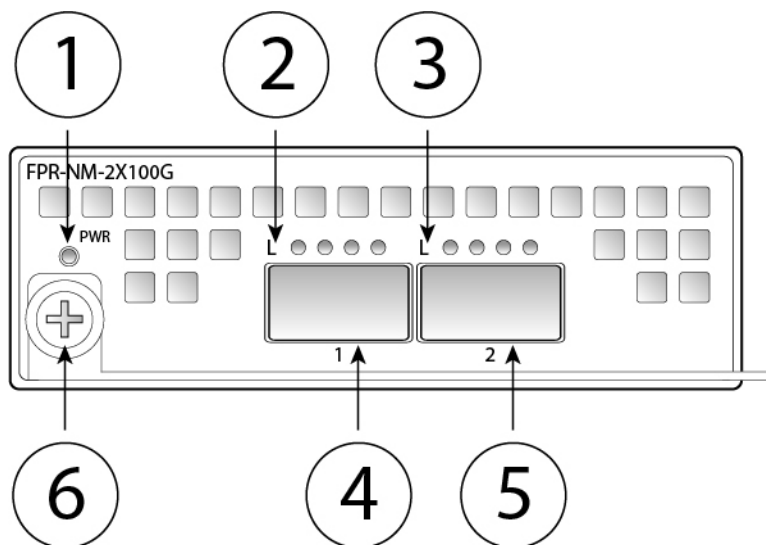
100 Gb ネットワークモジュール

次の図は、100 Gb ネットワークモジュールの前面パネルを示しています（FPR4K-NM-2X100G）。FPR4K-NM-2X100G は、ホットスワップをサポートする 2 ポートシングル幅モジュールです。2つのポートには番号が付いています（左から右）。FPR4K-NM-2X100G は、FTD 7.2 および ASA 9.18 で初めてサポートされました。



- (注) このネットワークモジュールに対応する正しいファームウェアパッケージとソフトウェアバージョンがインストールされていることを確認してください。ファームウェアパッケージのバージョンを確認する方法、および必要に応じてファームウェアをアップグレードする方法については、『[Cisco Firepower 4100/9300 FXOS Firmware Upgrade Guide](#)』[英語]を参照してください。ソフトウェア互換性マトリックスについては、『[Cisco Firepower 4100/9300 FXOS Compatibility](#)』[英語]を参照してください。

図 10 : FPR4K-NM-2X100G



<p>1 電源 LED</p>	<p>2 ネットワーク アクティビティ LED</p> <ul style="list-style-type: none"> • オフ：接続なし、またはポート未使用。 • オレンジ：リンクなし、またはネットワーク障害。 • 緑：リンク アップ。 • 緑（点滅）：ネットワーク アクティビティ。
<p>3 ネットワーク アクティビティ LED</p> <ul style="list-style-type: none"> • オフ：接続なし、またはポート未使用。 • オレンジ：リンクなし、またはネットワーク障害。 • 緑：リンク アップ。 • 緑（点滅）：ネットワーク アクティビティ。 	<p>4 イーサネット X/1</p>
<p>5 イーサネット X/2</p>	<p>6 非脱落型ネジ/ハンドル</p>

ハードウェアバイパス ネットワーク モジュール

ハードウェアバイパス (Fail-to-Wire と呼ばれる) は、ソフトウェアが介入することなく、ハードウェアによってポートペア間のパケットを転送できるようにするために、ペアリングしたインターフェイスをバイパスモードにできる物理層 (レイヤ1) のバイパスです。ハードウェアバイパスは、ソフトウェアまたはハードウェアの障害時にネットワーク接続を提供します。ハードウェアバイパスは、Firepower セキュリティ アプライアンスがトラフィックのモニターまたはロギングのみ行っているポートで役立ちます。ハードウェアバイパス ネットワーク モジュールには、必要な場合に2つのポートを接続できるオプティカルスイッチがあります。ハードウェアバイパス ネットワーク モジュールには、組み込みの SFP があります。

ハードウェアバイパスは、固定の一連のポートでのみサポートされます。たとえば、ポート1はポート2と、ポート3はポート4とペアリングできますが、ポート1をポート4とペアリングすることはできません。



- (注) アプライアンス スイッチを通常の運用からハードウェアバイパスに切り替えたとき、またはハードウェアバイパスから通常の運用に戻したときに、トラフィックが数秒間中断する可能性があります。中断時間の長さに影響を与える可能性があるいくつかの要因があります。たとえば、リンク エラーやデバウンスのタイミングをどのように処理するかなどのオプティカル リンク パートナーの動作、スパニング ツリー プロトコルのコンバージェンス、ダイナミック ルーティング プロトコルのコンバージェンスなどです。この間は、接続が落ちることがあります。

ハードウェアバイパス ネットワーク モジュールの設定方法には次の3つがあります。

- パッシブ インターフェイス : 1つのポートへの接続。

受動的にモニターする各ネットワーク セグメントに対して、ケーブルを1つのインターフェイスに接続します。これは、非ハードウェアバイパス ネットワーク モジュールが動作する方法です。

- インラインインターフェイス : 1つのネットワークモジュール、ネットワークモジュール全体、または固定ポート上の任意の2つのポートへの接続 (たとえば10 GBから10 GB)。

インラインでモニターする各ネットワークセグメントに対して、ケーブルをインターフェイスのペアに接続します。

- ハードウェアバイパス インターフェイスを使用したインライン : ハードウェアバイパス ペアセットの接続。

フェールオープンでインラインを設定する各ネットワークセグメントに対して、ペアリングしたインターフェイスのセットにケーブルを接続します。

40 GB ネットワークモジュールでは、2つのポートを接続してペアセットを形成します。1/10 GB ネットワークモジュールでは、上のポートを下のポートに接続してハードウェア

バイパスのペアセットを形成します。これにより、セキュリティアプライアンスで障害が発生した場合や電源を消失した場合でもトラフィックを伝送することができます。



- (注) ハードウェアバイパス対応とハードウェアバイパス非対応のインターフェイスを組み合わせで搭載しているインラインインターフェイスがある場合、このインラインインターフェイスセットではハードウェアバイパスを有効にすることはできません。インラインセットのすべてのペアが有効なハードウェアバイパスのペアである場合にのみ、インラインインターフェイスセットのハードウェアバイパスを有効にすることができます。

詳細情報

- 1 Gb ネットワーク モジュールの説明については、[ハードウェアバイパス対応 1 Gb ネットワークモジュール \(20 ページ\)](#) を参照してください。
- 40 Gb ネットワーク モジュールの説明については、[ハードウェアバイパス対応 40 Gb ネットワークモジュール \(22 ページ\)](#) を参照してください。
- 1 GB SX、10 GB SR、および LR ネットワーク モジュールの説明については、[ハードウェアバイパス対応 1-Gb SX/10-Gb SR/10-Gb LR ネットワークモジュール \(24 ページ\)](#) を参照してください。
- シングル幅ネットワークモジュールの取り外しと交換の手順については、[ネットワークモジュールの取り付け、取り外し、交換 \(59 ページ\)](#) を参照してください。

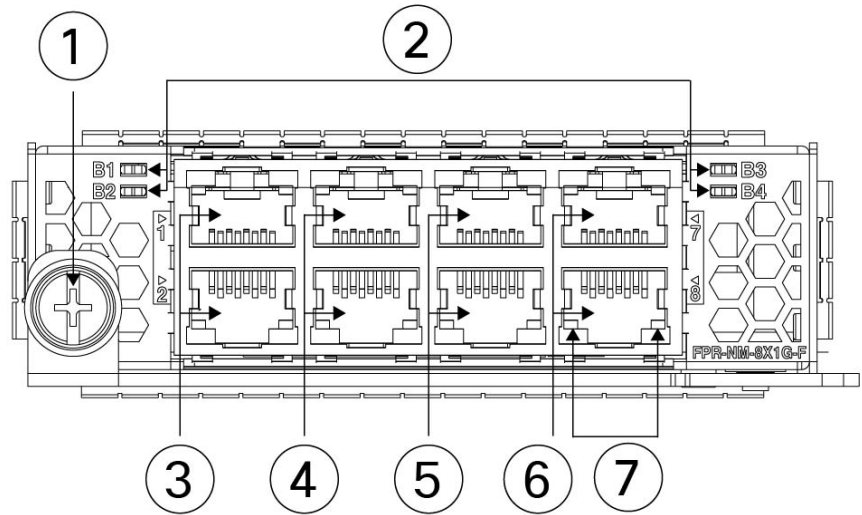
ハードウェアバイパス対応 1 Gb ネットワークモジュール

次の図は、ハードウェアバイパスを使った 1 Gb ネットワークモジュールの前面パネルビューを示しています (FPR-NM-8X1G-F)。ハードウェアバイパスのペアセットを形成するには、ポート 1 と 2、3 と 4、5 と 6、および 7 と 8 をペアリングします。



- (注) このネットワークモジュールに対応する正しいファームウェアパッケージとソフトウェアバージョンがインストールされていることを確認してください。ファームウェアパッケージのバージョンを確認する方法、および必要に応じてファームウェアをアップグレードする方法については、『[Cisco Firepower 4100/9300 FXOS Firmware Upgrade Guide](#)』[英語]を参照してください。ソフトウェア互換性マトリックスについては、『[Cisco Firepower 4100/9300 FXOS Compatibility](#)』[英語]を参照してください。

図 11 : FPR-NM-8X1G-F



1	非脱落型ネジ/ハンドル	2 B1 から B4 までのバイパス LED • 緑 : スタンバイ モード。 • オレンジ (点滅) : ポートがハードウェアバイパス モード (障害イベント)。
3	イーサネット X/1 ポート 1 および 2 がペアリングされてハードウェアバイパスペアを形成します。LED B1 は、このペアリングされたポートに適用されます。	4 イーサネット X/2 ポート 3 および 4 がペアリングされてハードウェアバイパスペアを形成します。LED B2 は、このペアリングされたポートに適用されます。
5	イーサネット X/2 ポート 5 および 6 がペアリングされてハードウェアバイパスペアを形成します。LED B3 は、このペアリングされたポートに適用されます。	6 イーサネット X/2 ポート 7 および 8 がペアリングされてハードウェアバイパスペアを形成します。LED B4 は、このペアリングされたポートに適用されます。
7	ネットワーク アクティビティ LED • 左側の LED : 10M/100M/1G が接続されている場合は緑色に点灯してネットワーク アクティビティを示します。 • 右側の LED : この時は使用しません。	—

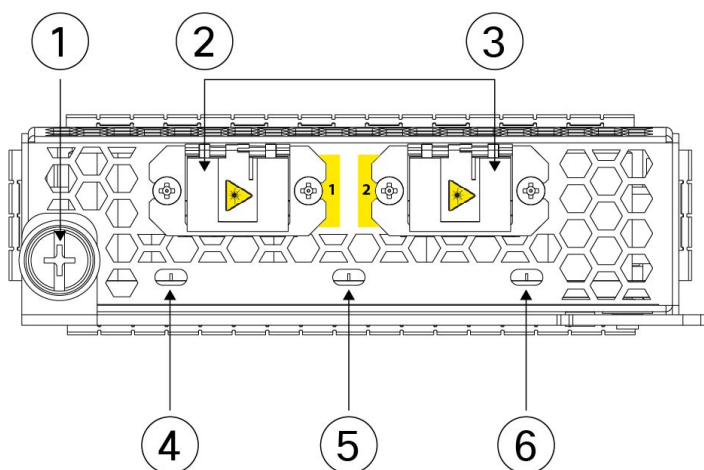
ハードウェアバイパス対応 40 Gb ネットワークモジュール

次の図は、40 Gb ハードウェア バイパス ネットワーク モジュールの前面パネルを示しています（FPR4K-NM-2X40G-F）。FPR4K-NM-2X40G-F は、ホットスワップをサポートしないシングル幅モジュールです。2つのポートには番号が付いています（左から右）。2つのポートをペアリングしてハードウェアバイパス ペアセットを作成します。



- (注) このネットワークモジュールに対応する正しいファームウェアパッケージとソフトウェアバージョンがインストールされていることを確認してください。ファームウェアパッケージのバージョンを確認する方法、および必要に応じてファームウェアをアップグレードする方法については、『[Cisco Firepower 4100/9300 FXOS Firmware Upgrade Guide](#)』[英語]を参照してください。ソフトウェア互換性マトリックスについては、『[Cisco Firepower 4100/9300 FXOS Compatibility](#)』[英語]を参照してください。

図 12: FPR4K-NM-2X40G-F



1	非脱落型ネジハンドル	2	ポート 1 イーサネット X/1 ポート 1 および 2 がペアリングされてハードウェアバイパス ペアを形成します。
---	------------	---	---

3	ポート 2 イーサネット X/2 ポート 1 および 2 がペアリングされてハードウェアバイパスペアを形成します。	4	ポート 1 ネットワークアクティビティ LED : <ul style="list-style-type: none"> • オレンジ : 接続なし、ポートが未使用、リンクなし、またはネットワーク障害。 • 緑 : リンクアップ、ネットワークアクティビティなし。 • 緑 (点滅) : ネットワークアクティビティ。
5	BP (バイパス LED) : <ul style="list-style-type: none"> • 緑 : スタンバイモード。 • オレンジ (点滅) : ポートがハードウェアバイパスモード (障害イベント)。 	6	ポート 2 ネットワークアクティビティ LED : <ul style="list-style-type: none"> • オレンジ : 接続なし、ポートが未使用、リンクなし、またはネットワーク障害。 • 緑 : リンクアップ、ネットワークアクティビティなし。 • 緑 (点滅) : ネットワークアクティビティ。

次の表では、挿入損失をできるだけ低く維持するために必要なケーブルの仕様について説明します。

表 2: 40 GB BASE SR ケーブルの仕様

インターフェイス	サポートするケーブル
イーサネット 40 G BASE SR4	50 ミクロン コア径
波長 850 nm	2000/4700 (OM3/4) モーダルな帯域幅 (MHz * km)
MPO-12 ポート アダプタ	50 m ケーブル長



(注) 40 Gb BASE-SR-4 の QSFP の仕様については、『[Cisco 40GBASE QSFP モジュール データシート](#)』を参照してください。

次の Cisco OM3 MTP/MPO ケーブルをお勧めします。

表 3: Cisco ケーブル

シスコの部品番号	ケーブル長
CAB-ETH-40G-5M	5 m
CAB-ETH-40G-10M	10 m
CAB-ETH-40G-20M	20 m

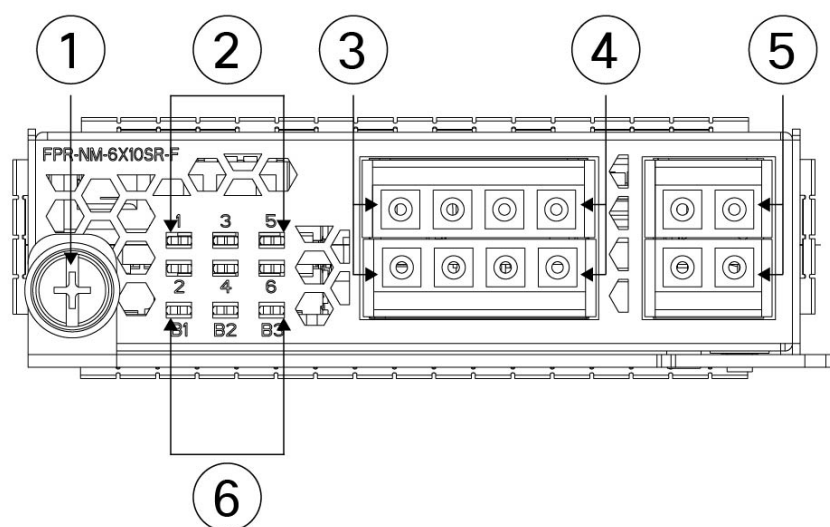
ハードウェアバイパス対応 1-Gb SX/10-Gb SR/10-Gb LR ネットワークモジュール

次の図は、1GBSX、10GBSRおよび10GBLRハードウェアバイパスのネットワークモジュール（FPRK4-NM-6X1SX-F、FPR4K-NM-6X10SR-F、FPR4K-NM-6X10LR-F）の前面パネルを示しています。これは、ホットスワップをサポートしないシングル幅モジュールです。6つのポートの番号付けは、上から下、左から右という順序になっています。ハードウェアバイパスのペアセットを形成するには、ポート1と2、3と4、および5と6をペアリングします。



- (注) このネットワークモジュールに対応する正しいファームウェアパッケージとソフトウェアバージョンがインストールされていることを確認してください。ファームウェアパッケージのバージョンを確認する方法、および必要に応じてファームウェアをアップグレードする方法については、『[Cisco Firepower 4100/9300 FXOS Firmware Upgrade Guide](#)』[英語]を参照してください。ソフトウェア互換性マトリックスについては、『[Cisco Firepower 4100/9300 FXOS Compatibility](#)』[英語]を参照してください。

図 13: FPR4K-NM-6X1SX-F、FPR4K-NM-6X10SR-F、FPR4K-NM-6X10LR-F



1	非脱落型ネジ/ハンドル	2	6つのネットワークアクティビティLED： <ul style="list-style-type: none"> • オレンジ：接続なし、ポートが未使用、リンクなし、またはネットワーク障害。 • 緑：リンクアップ、ネットワークアクティビティなし。 • 緑（点滅）：ネットワークアクティビティ。
3	イーサネット X/1（上のポート） イーサネット X/2（下のポート） ポート1および2がペアリングされてハードウェアバイパスペアを形成します。	4	イーサネット X/3（上のポート） イーサネット X/4（下のポート） ポート3および4がペアリングされてハードウェアバイパスペアを形成します。
5	イーサネット X/5（上のポート） イーサネット X/6（下のポート） ポート5および6がペアリングされてハードウェアバイパスペアを形成します。	6	B1 から B3 までのバイパス LED: <ul style="list-style-type: none"> • 緑：スタンバイモード。 • オレンジ（点滅）：ポートがハードウェアバイパスモード（障害イベント）。

1 Gb SX /10 Gb SR/10 Gb LR ネットワーク モジュールには、次の挿入損失の測定があります。挿入損失の測定により、ケーブルの設置やパフォーマンスを確認できるため、ネットワークのトラブルシューティングに役立ちます。

表 4: 1 Gb SX ネットワーク モジュール (FPR4K-NM-6X1SX-F)

	操作モード	標準	最大
挿入損失	標準 ハードウェアバイパス	0.9 dB 1.2 dB	1.4 dB 1.7 dB
	コア直径（ミクロン）	モード帯域幅（MHz/km）	ケーブル長 （注） IEEE 規格で指定されている距離の半分。

ケーブルおよび動作距離	62.5	160 (FDDI)	110 m
	62.5	200 (OM1)	137 m
	50	400	250 m
	50	500 (OM2)	275 m
	50	2000 (OM3)	500 m

表 5: 10 Gb SR ネットワーク モジュール (FPR4K-NM-6X10SR-F)

	操作モード	標準	最大
挿入損失	標準	0.9 dB	1.4 dB
	ハードウェアバイパス	1.2 dB	1.7 dB
	コア直径 (ミクロン)	モード帯域幅 (MHz/km)	ケーブル長 (注) IEEE 規格で指定されている距離の半分。
ケーブルおよび動作距離	62.5	160 (FDDI)	13 m
	62.5	200 (OM1)	16.5 m
	50	400	33 m
	50	500 (OM2)	41 m
	50	2000 (OM3)	150 m
	50	4700 (OM4)	200 m

表 6: 10 GB LR ネットワーク モジュール (FPR4K-NM-6X10LR-F)

	操作モード	標準	最大
挿入損失	標準	1.2 dB	1.6 dB
	ハードウェアバイパス	1.5 dB	1.9 dB
	コア直径 (ミクロン)	モード帯域幅 (MHz/km)	ケーブル長 (注) IEEE 規格で指定されている距離の半分。

ケーブルおよび動作距離	G.652	シングルモード	5 km
-------------	-------	---------	------

電源モジュール

Firepower 4100 では、2つの AC または DC 電源モジュールがサポートされているため、デュアル電源による冗長化機能を使用できます。電源モジュールには、シャーシの背面に向かって左から右に番号が付けられています（例：PSU1、PSU2）。



(注) システムの所要電力は、電源モジュールの能力よりも低いです。システムの所要電力については、[ハードウェア仕様 \(33 ページ\)](#) を参照してください。



(注) 電源スイッチをオフに動かすか電源コードを取り外してシャーシへの電力供給を遮断した後は、少なくとも 10 秒間待機してから電源を再投入してください。



注目 1つの電源モジュールが常にアクティブであることを確認してください。

電源モジュールの取り外しと交換の手順については、[電源モジュールの取り外しと交換 \(68 ページ\)](#) を参照してください。

AC 電源装置

電源は、範囲内のすべての入力電圧で最大 1100 W の電力を供給できます。両方の電源モジュールを接続して同時に動作させると、負荷が共有されます。電源モジュールは、ホットスワップ可能です。

表 7: AC 電源モジュールのハードウェア仕様

説明	仕様
入力電圧	100 ~ 240 V AC
最大電流	13 A (100 VAC 使用時) (注) システムの所要電力は、電源モジュールの能力よりも低いです。システムの所要電力については、 ハードウェア仕様 (33 ページ) を参照してください。
最大出力	1100 W

周波数	50 ~ 60 Hz
冗長性	1 + 1 冗長
50% 負荷での効率	92%

DC 電源

電源は、範囲内のすべての入力電圧で最大950Wの電力を供給できます。両方の電源モジュールを接続して同時に動作させると、負荷が共有されます。電源モジュールは、ホットスワップ可能です。

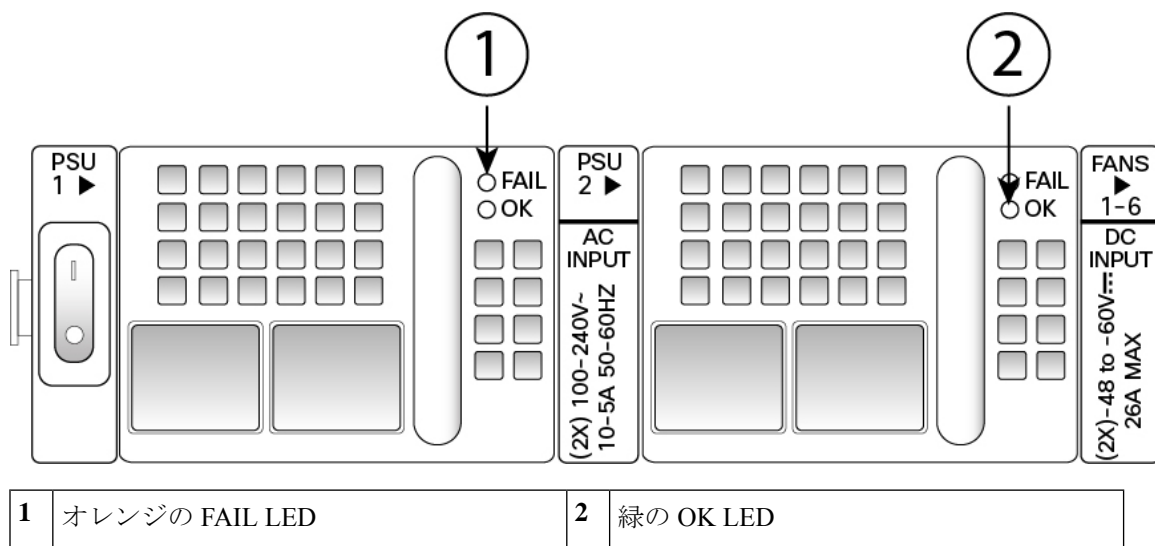
表 8: DC 電源モジュールのハードウェア仕様

説明	仕様
入力電圧	-40 ~ -60 V DC
最大電流	26 A (40 V DC 使用時)
最大出力	950 W
冗長性	1 + 1 冗長
50% 負荷での効率	92%

電源モジュールの LED

次の図は、2色の電源 LED を示しています。LED は右上にあります。

図 14: 電源モジュールの LED



次の表で、電源モジュール LED およびその状態について説明します。

表 9:電源モジュールの LED

	オレンジ色の LED (障害ステータス)	緑色の LED (OK ス テータス)
どの電源モジュールにも電力が供給されてい ない	オフ	オフ
電源モジュールの障害 これには、過電圧、過電流、過熱、ファン障 害なども含まれます	オン	オフ
電源モジュールの警告イベント 電源は動作し続けます。 高温、高電力、ファン速度低下あり	1 Hz の点滅	オフ
電力あり。 3.3 VSB オン (電源モジュールはオフ)	オフ	1 Hz の点滅
電源モジュールは正常でオン	オフ	オン

ファンモジュール

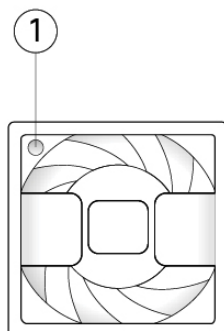
Firepower 4100 には、ホットスワップ可能な 6 つのファンモジュールが必要です。これらはシャーシの背面に設置されます。システムは、(N+1 のファン冗長構成で) 1 つのファンの障害時の運用をサポートしていますが、すべてのファンモジュールが設置されていない状態でシステムを長時間実行しないでください。取り外しおよび交換は 3 分以内で行ってください。一度に取り外しおよび交換できるファンモジュールは 1 つです。

ファンを取り外すかまたはファンが故障した場合は他のファンがフルスピードで稼働し、ファンの騒音が大きくなることがあります。

ファンモジュールには左から右に番号が付けられています (例 : FAN1、FAN2、FAN3、FAN4、FAN5、FAN6)。ファンモジュールの取り外しと交換の手順については、[ファンモジュールの取り外しと交換 \(63 ページ\)](#) を参照してください。

次の図は、ファン LED の位置を示しています。

図 15: ファン LED



1	2 色の LED
---	----------

ファン モジュールは、ファンの左上に 1 つの 2 色 LED を備えています。

- オレンジ：ファン障害。
- 緑：ファンは通常動作中。電源をオンにした後 LED ステータスが緑に変わるまで 1 分程度かかることがあります。

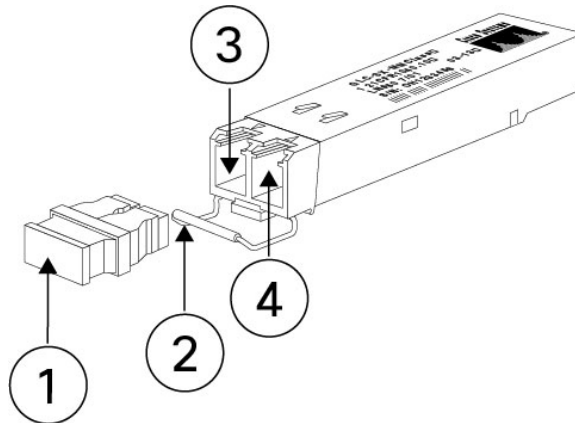
サポートされる SFP/SFP+ と QSFP トランシーバ

SFP/SFP+ トランシーバは、同じ物理パッケージ内にトランスミッタとレシーバを備えた双方向機器です。この機器はホットスワップ対応の光または電気（銅線）インターフェイスであり、固定ポートとネットワーク モジュールポートの SFP/SFP+ ポートに装着され、イーサネット接続を提供します。



警告 トランシーバを取り付ける際には、適切な ESD 手順に従ってください。背面の端子には触れないようにしてください。また、端子とポートは、ほこりや汚れが付いていない状態に維持する必要があります。未使用のトランシーバは、出荷時の静電放電パッキング内に入れたまま保管してください。次の図に、SFP トランシーバの例を示します。

図 16: SFP



1	ダスト プラグ	2	ベイル クラスプ
3	受信光ボア	4	送信光ボア

安全上の警告

次の光接続に関する警告に注意してください。



警告 ステートメント 1051 : レーザー放射

接続されていない光ファイバケーブルやコネクタからは目に見えないレーザー光が放射されている可能性があります。レーザー光を直視したり、光学機器を使用して直接見たりしないでください。



警告 ステートメント 1055 : クラス I およびクラス 1M レーザーまたはその一方

目に見えないレーザー放射があります。望遠鏡を使用しているユーザに光を当てないでください。これは、クラス 1/1M のレーザー製品に適用されます。



次の表に、シスコがサポートしているトランシーバを示します。

表 10: サポートされる Cisco SFP/SFP+ トランシーバ

オプティクスのタイプ	PID
1 GB	
1G-SX	GLC-SX-MMD

1G-LH/LX	GLC-LH-SMD
1G-EX	GLC-EX-SMD
1G-ZX	GLC-ZX-SMD
1G 1000Base-T	GLC-T
1G 1000Base-T	GLC-TE
10 GB	
10G-SR	SFP-10G-SR
10G-SR-S	SFP-10G-SR-S
10G-LR	SFP-10G-LR
10G-LR-S	SFP-10G-LR-S
10G-LRM	SFP-10G-LRM
10G-ER	SFP-10G-ER
10G-ER-S	SFP-10G-ER-S
10G-ZR-S	SFP-10G-ZR-S
10G CU、1m	SFP-H10GB-CU1M
10G CU、1.5m	SFP-H10GB-CU1-5M
10G CU、2m	SFP-H10GB-CU2M
10G CU、2.5m	SFP-H10GB-CU2-5M
10G CU、3m	SFP-H10GB-CU3M
10G CU、5m	SFP-H10GB-CU5M
10G CU、7m	SFP-H10GB-ACU7M
10G CU、10m	SFP-H10GB-ACU10M
10G AOC、1m	SFP-10G-AOC1M
10G AOC、2m	SFP-10G-AOC2M
10G AOC、3m	SFP-10G-AOC3M
10G AOC、5m	SFP-10G-AOC5M
10G AOC、7m	SFP-10G-AOC7M
10G AOC、10m	SFP-10GAOC10M

40 Gb	
40G-SR4	QSFP-40G-SR4
40G-SR4-S	QSFP-40G-SR4-S
40G-CSR4	QSFP-40G-CSR4
40G-SR-BD	QSFP-40G-SR-BD
40GE-LR4	QSFP-40GE-LR4
40GE-LR4-S	QSFP-40GE-LR4-S
40G-LR4L	WSP-Q40GLR4L
40G-CU、1M、3M、5M	QSFP-H40G-CU
40G-4X10G-CU、1M、3M、5M	QSFP-4SFP10G-CU
40G-CU-A、7M、10M	QSFP-H40G-ACU
40G-4X10G-CU-A、7M、10M	QSFP-4X10G-AC
40G-AOC、1M、2M、3M、5M、7M、10M、15M	QSFP-H40G-AOC
100Gb	
100G-FR	QSFP-100G-FR-S

ハードウェア仕様

次の表に、Firepower 4100 のハードウェア仕様を示します。

表 11: Firepower 4100 ハードウェア仕様

仕様	4112	4115	4125	4145
サイズ (高さ X 幅 X 奥行)	4.44 X 42.90 X 75.43 cm (1.75 X 16.89 X 29.7 インチ) 4.44 X 42.90 X 80.06 cm (1.75 X 16.89 X 31.52 インチ) (ファンを搭載)			
重量	17.87 kg (39.4 ポンド) (2つの電源モジュール、2つのネットワークモジュール、6つのファン) 14.24 kg (31.4 ポンド) (電源モジュールなし、ネットワークモジュールなし、ファンなし)			
システム電源	AC : 100/240V AC 10 A (100 V で) 、 50 ~ 60 Hz DC : -40 V DC ~ -60 V DC、 26 A (-40 V で)			

仕様	4112	4115	4125	4145
温度	動作時：0～40℃（32～104°F）（海拔0m） 海拔0mから305m（1,000フィート）上昇するごとに最高温度から1℃マイナス 非動作時：-40～65℃（-40～149°F）			
NEBS 動作温度 Firepower 4125 のみ	—	—	長期間：0～45℃（最高1,829m/6,000フィート） 長期間：0～35℃（1,829～3,964m/6,000～13,000フィート） 短期間：-5～55℃（最高1,829m/6,000フィート）	—
湿度	動作時と非動作時：5～95%、結露しないこと			
高度	動作時：最高3,048m（10,000フィート） 非動作時：最高4,570m（15,000フィート）			
NEBS 動作高度 Firepower 4125 のみ	—	—	0～3,962m（13,000フィート）	—
音圧	63 dBa（通常） 74 dBa（最大）			
公表の音響出力	76 dB（通常） 87 dB（最大）			

製品 ID 番号

次の表に、Firepower 4100 に関連付けられている PID を示します。表にあるすべての PID は現場交換可能です。いずれかのコンポーネントの返品許可（RMA）を取得する必要がある場合は、[シスコ返品ポータル](#)で詳細を確認してください。



- (注) Firepower 4100 の PID のリストを表示する手順については、『[Cisco Firepower 4100/9300 FXOS Command Reference](#)』、『[Cisco Firepower Threat Defense Command Reference](#)』、または『[Cisco ASA Series Command Reference](#)』の **show inventory** コマンドを参照してください。

表 12: Firepower 4100 PID

PID	説明
FPR4112-ASA-K9	Cisco Firepower 4112 ASA アプライアンス、1 RU、ネットワークモジュールベイ X 2
FPR4112-NGFW-K9	Cisco Firepower 4112 NGFW アプライアンス、1 RU、ネットワークモジュールベイ X 2
FPR4112-NGFW-K9	Cisco Firepower 4112 NGIPS アプライアンス、1 RU、ネットワークモジュールベイ X 2
FPR4115-ASA-K9	Cisco Firepower 4115 ASA アプライアンス、1 RU、ネットワークモジュールベイ X 2
FPR4115-NGFW-K9	Cisco Firepower 4115 NGFW アプライアンス、1 RU、ネットワークモジュールベイ X 2
FPR4115-NGIPS-K9	Cisco Firepower 4115 NGIPS アプライアンス、1 RU、ネットワークモジュールベイ X 2
FPR4125-ASA-K9	Cisco Firepower 4125 ASA アプライアンス、1 RU、ネットワークモジュールベイ X 2
FPR4125-NGFW-K9	Cisco Firepower 4125 NGFW アプライアンス、1 RU、ネットワークモジュールベイ X 2
FPR4125-NGIPS-K9	Cisco Firepower 4125 NGIPS アプライアンス、1 RU、ネットワークモジュールベイ X 2
FPR4145-ASA-K9	Cisco Firepower 4145 ASA アプライアンス、1 RU、ネットワークモジュールベイ X 2
FPR4145-NGFW-K9	Cisco Firepower 4145 NGFW アプライアンス、1 RU、ネットワークモジュールベイ X 2
FPR4145-NGIPS-K9	Cisco Firepower 4145 NGIPS アプライアンス、1 RU、ネットワークモジュールベイ X 2
FPR4K-ACC-KIT2	ラックマウントおよびケーブルが含まれている Firepower ハードウェアアクセサリキット

PID	説明
FPR4K-ACC-KIT2=	ラック マウントおよびケーブルが含まれている Firepower ハードウェア アクセサリ キット (スペア)
FPR4K-S-FAN	ファン
FPR4K-S-FAN=	ファン (予備)
FPR4K-NM-2X40G-F	2 ポート 40 Gb SR ハードウェア バイパス ネットワーク モジュール
FPR4K-NM-2X40G-F=	2 ポート 40 Gb SR ハードウェア バイパス ネットワーク モジュール (予備)
FPR4K-NM-4X40G	4 ポート 40 Gb QSFP+ ネットワークモジュール
FPR4K-NM-4X40G=	4 ポート 40 Gb QSFP+ ネットワークモジュール (予備)
FPR4K-NM-6X10LR-F	6 ポート 10 Gb LR ハードウェア バイパス ネットワーク モジュール
FPR4K-NM-6X10LR-F=	6 ポート 10 Gb LR ハードウェア バイパス ネットワーク モジュール (予備)
FPR4K-NM-6X10SR-F	6 ポート 10 Gb SR ハードウェア バイパス ネットワーク モジュール
FPR4K-NM-6X10SR-F=	6 ポート 10 Gb SR ハードウェア バイパス ネットワーク モジュール (予備)
FPR4K-NM-6X1SX-F	6 ポート 1 Gb SX 光ファイバ ハードウェア バイパス ネットワーク モジュール
FPR4K-NM-6X1SX-F=	6 ポート 1 Gb SX 光ファイバ ハードウェア バイパス ネットワーク モジュール (予備)
FPR4K-NM-8X10G	8 ポート 10 Gb SFP+ ネットワークモジュール
FPR4K-NM-8X10G=	8 ポート 10 Gb SFP+ ネットワークモジュール (予備)
FPR4K-NM-8X1G-F	8 ポート 1 Gb 銅線ハードウェア バイパス ネットワーク モジュール
FPR4K-NM-8X1G-F=	8 ポート 1 Gb 銅線ハードウェア バイパス ネットワーク モジュール (予備)

PID	説明
FPR4K-NM-2X100G	2ポート 100 Gb シングル幅ネットワークモジュール
FPR4K-NM-2X100G=	2ポート 100 Gb シングル幅ネットワークモジュール (予備)
FPR4K-NM-BLANK	ネットワーク モジュール ブランク スロット カバー
FPR4K-NM-BLANK=	ネットワーク モジュール ブランク スロット カバー (予備)
FPR4K-PSU-BLANK	シャーシ電源モジュールブランク スロット カバー
FPR4K-PSU-BLANK=	シャーシ電源モジュールブランク スロット カバー (予備)
FPR4K-PWR-AC-1100	1100 W AC 電源モジュール
FPR4K-PWR-AC-1100=	1100 W AC 電源モジュール (予備)
FPR4K-PWR-DC-950	950 W DC 電源モジュール
FPR4K-PWR-DC-950=	950 W DC 電源モジュール (予備)
FPR4K-RACK-MNT	ラックマウント キット
FPR4K-RACK-MNT=	ラックマウント キット (予備)
FPR4K-CBL-MGMT	ケーブル管理ブラケット
FPR4K-CBL-MGMT=	ケーブル管理ブラケット (予備)
FPR4K-SSD-BBLKD	SSD スロット キャリア
FPR4K-SSD-BBLKD=	SSD スロット キャリア (予備)
FPR4K-SSD400	Firepower 4112 および 4115 用 400 GB SSD
FPR4K-SSD400=	Firepower 4112 および 4115 用 400 GB SSD (予備)
FPR4K-SSD800	Firepower 4125 および 4145 用 800 GB SSD
FPR4K-SSD800=	Firepower 4125 および 4145 用 800 GB SSD (予備)

電源コードの仕様

各電源装置には個別の電源コードがあります。セキュリティアプライアンスへの接続には標準電源コードを使用できます。

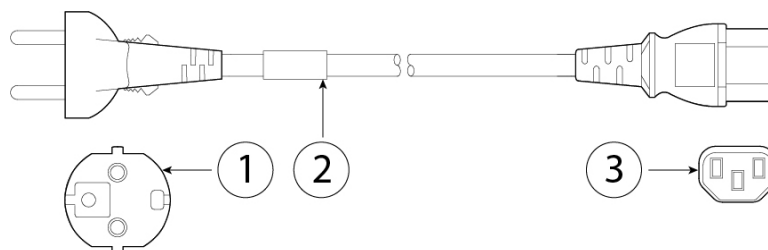
システムのオプションの電源コードを注文しない場合は、ユーザーの責任で製品に適した電源コードを選択します。この製品と互換性がない電源コードを使用すると、電気の安全性に関する危険が生じる可能性があります。アルゼンチン、ブラジル、および日本向けの注文では、システムとともに注文される適切な電源コードが必要です。



(注) 使用できるのは、セキュリティアプライアンスに付属している認定済みの電源コードまたはジャンパ電源コードだけです。

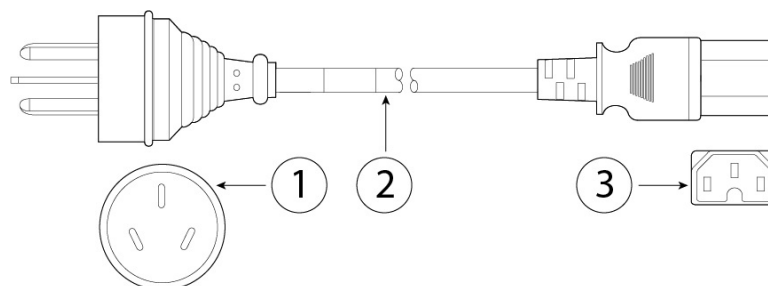
次の電源コードがサポートされています。

図 17: アルゼンチン CAB-9K10A-AR



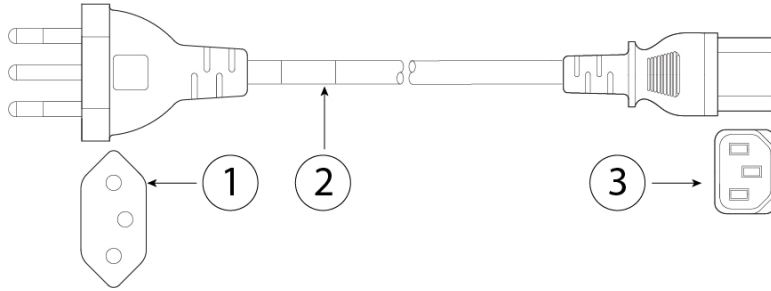
1	プラグ : IRAM 2073	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320-C15		—

図 18: オーストラリア CAB-9K10A-AU



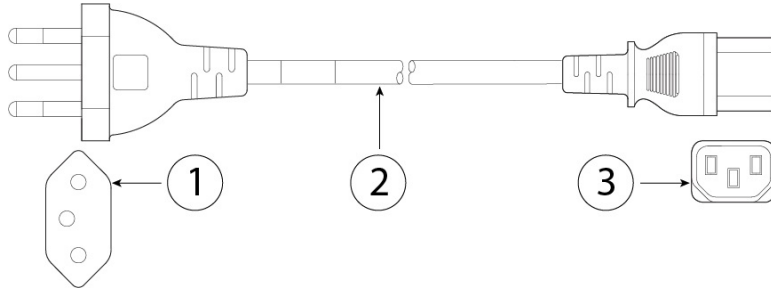
1	プラグ : A.S. 3112-2000	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320-C15		—

図 19: ブラジル CAB-250V-10A-BR



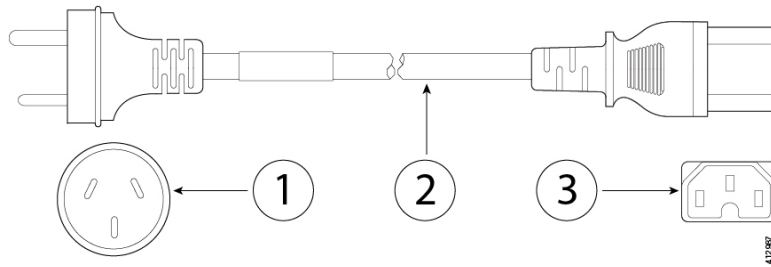
1	プラグ : EL223 (NBR 14136)	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : EL 701B (EN 60320/C13)		—

図 20: ブラジル PWR-CORD-G2A-BZ



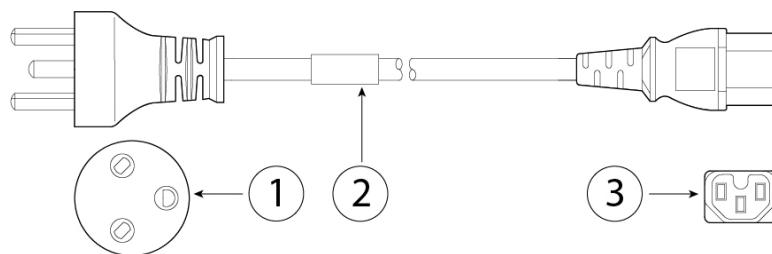
1	プラグ : NBR 14136	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320-C13		—

図 21: 中国 CAB-9K10A-CH



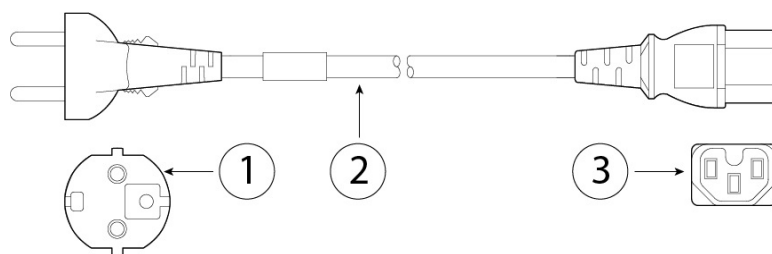
1	プラグ : CCC GB2099.1、GB1002	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320-C15		—

図 22: デンマーク CAB-TA-DN



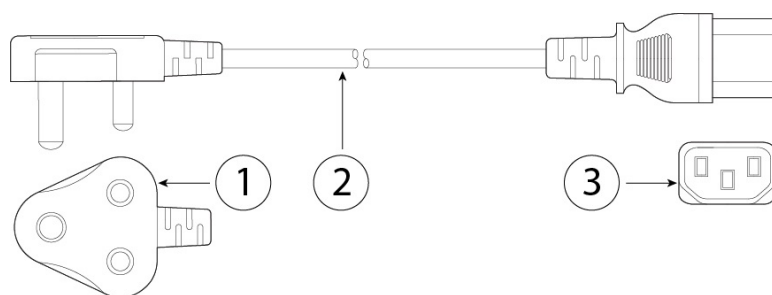
1	プラグ : DK3	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320-C13		—

図 23: 欧州 CAB-AC-EUR



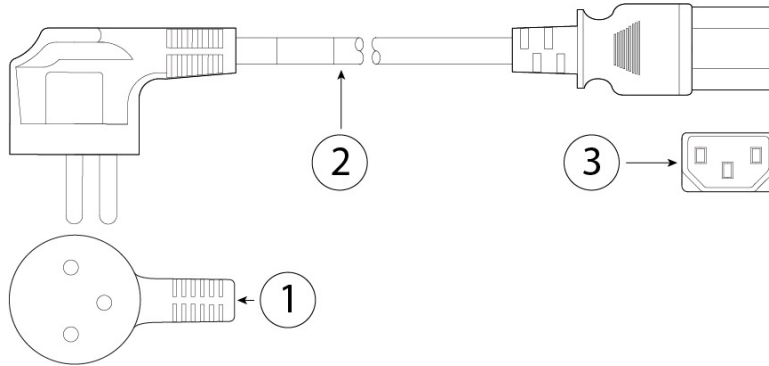
1	プラグ : CEE 7/7	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320-C15		—

図 24: インド CAB-250V-10A-ID



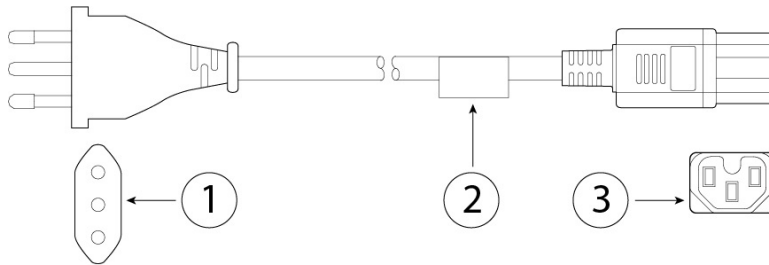
1	プラグ : IS 6538-1971	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320-C13		—

図 25: イスラエル CAB-250V-10A-IS



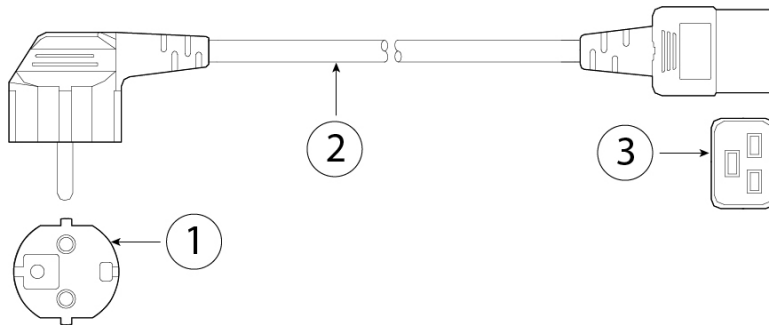
1	プラグ : SI-32	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320-C13		—

図 26: イタリア CAB-9K10A-IT



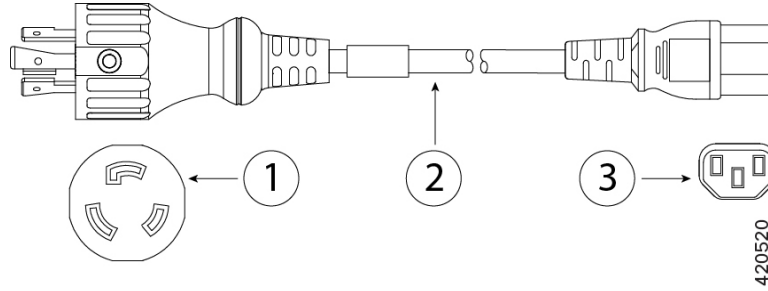
1	プラグ : CEI 23-16/VII	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320-C15		—

図 27: 韓国 CAB-9K10A-KOR



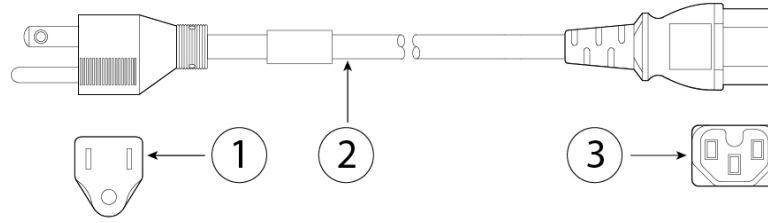
1	プラグ : CEE 7/7	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320-C19		—

図 28: 日本 CAB-L620P-C13-JPN



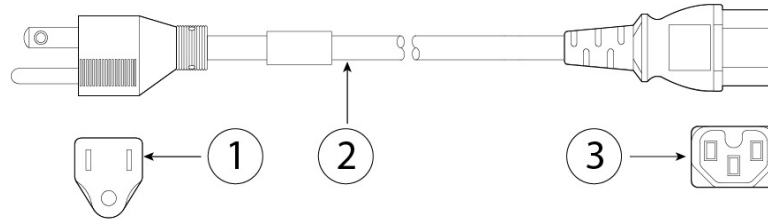
1	プラグ : NEMA L6-20P	2	コードセット定格 : 15A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320-C13		—

図 29: 日本 CAB-TA-JP



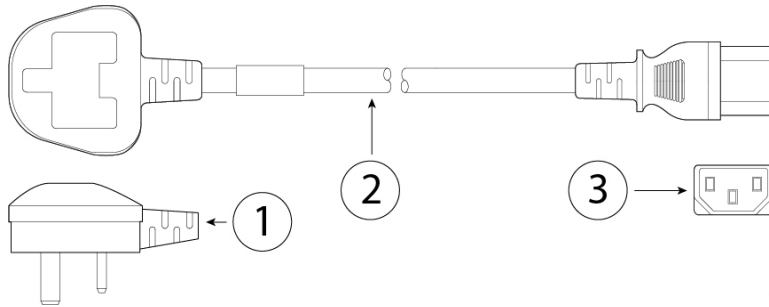
1	プラグ : NEMA5-15P/JIS 8303	2	コードセット定格 : 12 A、125 V
3	コネクタ : IEC 60320-C15		—

図 30: 北米 CAB-TA-NA



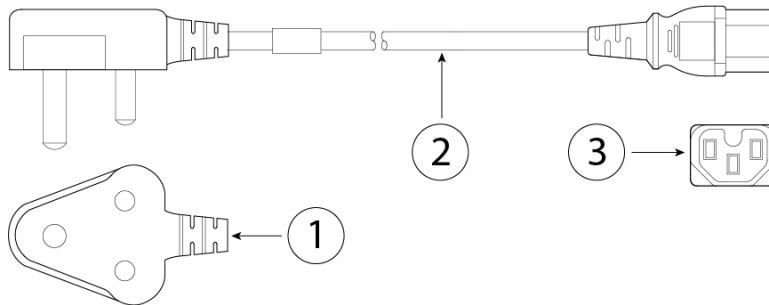
1	プラグ : NEMA5-15P	2	コードセット定格 : 12 A、125 V
3	コネクタ : IEC 60320-C15		—

図 31: サウジアラビア *ATA187PWRCORD-SAUD*



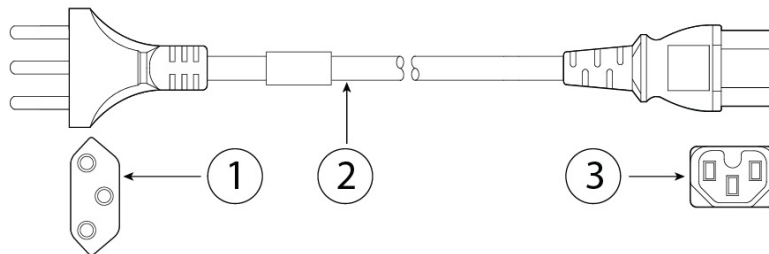
1	プラグ : BS1363A/SS145	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320-C13		—

図 32: 南アフリカ *CAB-9K10A-SA*



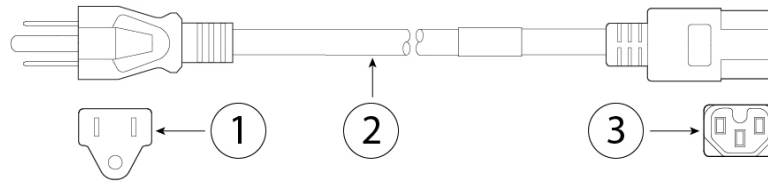
1	プラグ : SABS 164	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320-C15		—

図 33: スイス *CAB-9K10A-SW*



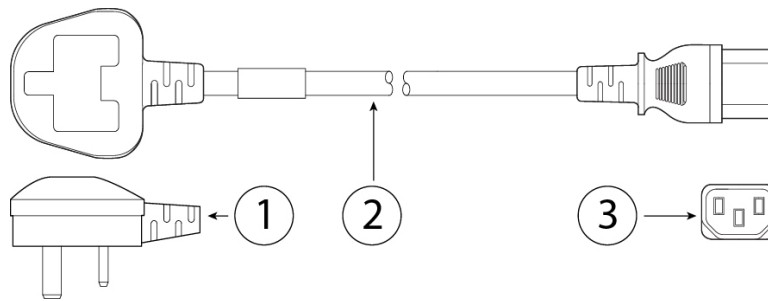
1	プラグ : SEV 1011	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320-C15		—

図 34: 台湾 CAB-9K10A-TWN



1	プラグ : CNS10917-2	2	コードセット定格 : 10 A、125 V
3	コネクタ : IEC 60320-C15		—

図 35: イギリス CP-PWR-CORD-UK



1	プラグ : BS1363A/SS145	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320-C13		—



第 2 章

インストールの準備

- 設置に関する警告 (45 ページ)
- 安全に関する推奨事項 (47 ページ)
- 電気製品を扱う場合の注意 (48 ページ)
- 静電破壊の防止 (48 ページ)
- 設置場所の環境 (49 ページ)
- サイトの考慮事項 (49 ページ)
- 電源モジュールに関する考慮事項 (49 ページ)
- ラックの構成に関する考慮事項 (50 ページ)

設置に関する警告

セキュリティ アプライアンスを設置する前に、必ず『[Regulatory and Compliance Safety Information](#)』をお読みください。

次の一般的な安全上の警告に注意してください。



警告 ステートメント 1071 : 警告の定義

安全上の重要な注意事項

装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。使用、設置、電源への接続を行う前にインストール手順を読んでください。各警告の冒頭に記載されているステートメント番号を基に、装置の安全についての警告を参照してください。

これらの注意事項を保管しておいてください。



**(注) ステートメント 407 - 日本語での安全上の注意**

製品を使用する前に、安全上の注意事項を読むことを強くお勧めします。

<https://www.cisco.com/web/JP/techdoc/pldoc/pldoc.html>

製品を設置するときには、付属のまたは指定された接続ケーブル、電源コード、および AC アダプタを使用してください。

〈製品仕様における安全上の注意〉
www.cisco.com/web/JP/techdoc/index.html

接続ケーブル、電源コードセット、ACアダプタ、バッテリーなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。添付品・指定品以外をご使用になると故障や動作不良、火災の原因となります。また、電源コードセットは弊社が指定する製品以外の電気機器には使用できないためご注意ください。

**警告 ステートメント 1015—バッテリーの取り扱い**

火災、爆発、または可燃性液体やガス漏れのリスクを軽減するために。

- 交換用バッテリーは元のバッテリーと同じものか、製造元が推奨する同等のタイプのものを使用してください。
- 分解、粉砕、破壊、鋭利な道具を使った取り外し、外部接点のショート、火中への廃棄は行わないでください。
- バッテリーがゆがんだり、膨らんだりしているときは使用しないでください。
- 60 °C を超える温度でバッテリーを保管または使用しないでください。
- 69.7 kPa よりも低い低気圧環境でバッテリーを保管または使用しないでください。

**警告 ステートメント 1029 : ブランクの前面プレートおよびカバー パネル**

ブランクの前面プレートおよびカバーパネルには、3つの重要な機能があります。感電および火災のリスクを軽減すること、他の装置への電磁波干渉 (EMI) の影響を防ぐこと、およびシャーシ内の冷気の流れを適切な状態に保つことです。システムは、必ずすべてのカード、前面プレート、前面カバー、および背面カバーを正しく取り付けられた状態で運用してください。

**警告 ステートメント 1073—ユーザが保守可能な部品なし**

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

**警告** ステートメント 1074：地域および国の電気規則への適合

感電または火災のリスクを軽減するため、機器は地域および国の電気規則に従って設置する必要があります。

**警告** ステートメント 1089—教育を受けた担当者および熟練者の定義

教育を受けた担当者とは、熟練者から教育やトレーニングを受け、機器を操作する際に必要な予防措置を講じられる人です。

熟練者または資格保持者とは、機器の技術に関するトレーニングを受けているか経験があり、機器を操作する際に潜む危険を理解している人です。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

**警告** ステートメント 1090—熟練者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、熟練者のみが実施できます。熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

**警告** ステートメント 1091—教育を受けた担当者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、教育を受けた担当者または熟練者のみが実施できません。教育を受けた担当者または熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

**警告** ステートメント 9001—製品の廃棄

本製品の最終処分は、各国のすべての法律および規制に従って行ってください。

安全に関する推奨事項

これらの安全に関する注意事項を遵守してください。

- 設置作業中および作業後は、設置場所を整理し、埃のない状態に保ってください。
- 工具は、通行の邪魔にならない場所に置いてください。

- ゆったりとした衣服やイヤリング、ブレスレット、ネックレスなどの装飾品は身につけず、シャーシに引っかかることがないようにしてください。
- 目が危険にさらされる状況で作業する場合は、保護眼鏡を着用してください。
- 人身事故や装置障害を引き起こす可能性のある作業は行わないでください。
- 重量が1人で扱える範囲を超えているものを、単独で持ち上げないでください。

電気製品を扱う場合の注意



警告 シャーシの作業を行う前に、必ず電源コードを抜いてください。

シャーシを設置する前に、必ず『[Regulatory Compliance and Safety Information](#)』 [英語] のドキュメントをお読みください。

電気機器を取り扱う際には、次の注意事項に従ってください。

- シャーシ内部の作業を開始する前に、作業を行う部屋の緊急電源遮断スイッチの場所を確認しておいてください。電気事故が発生した場合は、ただちにその部屋の電気を切ってください。
- 危険を伴う作業は、一人では行わないでください。
- 電源が切断されていると思いつまずに、必ず確認してください。
- 床が濡れていないか、アースされていない電源延長コード、すり減った電源コード、保護アースの不備などがなくどうか、作業場所の安全を十分に確認してください。
- シャーシは、指定された定格電力の範囲内で、製品の使用説明書に従って使用してください。
- シャーシに搭載されている AC 入力電源装置には 3 線式の電気コードが付属しており、そのアース端子付きのプラグはアース端子付きの電源コンセントにしか差し込めないようになっています。これは大変重要な安全メカニズムです。装置のアースは、地域および国内の電気規定に適合させる必要があります。

静電破壊の防止

電子部品の取り扱いが不適切な場合、ESDが発生し、機器の損傷や電気回路の破損を引き起こす可能性があります。その結果、機器の断続的障害または完全な故障を引き起こします。

部品の取り外しまたは交換を行うときは、必ず静電気防止手順に従ってください。シャーシが電氣的にアースに接続されていることを確認してください。静電気防止用リストストラップを肌に密着させて着用してください。アースクリップをシャーシフレームの塗装されていない表

面に止めて、静電気が安全にアースに流れるようにします。静電放電による損傷とショックを防止するには、リストストラップとコードを効果的に作用させる必要があります。リストストラップがない場合は、シャーシの金属部分に触れて、身体を接地してください。

安全を確保するために、静電気防止用ストラップの抵抗値を定期的にチェックしてください。抵抗値は1～10 M Ω である必要があります。

設置場所の環境

物理的仕様については、[ハードウェア仕様 \(33 ページ\)](#) を参照してください。

機器故障を予防し、環境に起因するシャットダウンを防ぐため、注意して設置場所のレイアウトや機器の配置を検討してください。既存の装置で停止やエラーが頻繁に起きている場合にも、この考慮事項を参考にすることにより、障害の原因を突き止め、今後問題が起きないように予防できます。

サイトの考慮事項

以下の情報を考慮することで、シャーシに適した動作環境を確保し、環境による装置の故障を防ぐことができます。

- 電子機器は放熱します。空気の循環が不十分な場合、周辺の温度が上昇し、その結果、適切な動作温度まで装置を冷却できなくなることがあります。システムを使用する室内で十分に換気が行われるようにしてください。
- シャーシカバーが完全に取り付けられていることを確認してください。シャーシは内部を冷却用の空気が適切に流れるように設計されています。シャーシが開いていると、空気が漏れて、内蔵部品に冷却用の空気が行き渡らなくなったり、空気の流れが妨害されることがあります。
- 常に静電気防止手順に従い、機器の損傷を防いでください。静電放電による損傷によって、即時または断続的な機器障害が発生する可能性があります。

電源モジュールに関する考慮事項

シャーシの電源装置の詳細については、「[電源モジュール \(27 ページ\)](#)」を参照してください。

シャーシを設置する際には、以下のことを考慮してください。

- シャーシを設置する前に、設置場所の電源を調べ、スパイクやノイズがないかどうかを確認してください。必要に応じて電源調整器を設置し、アプライアンス入力電圧にて適切な電圧および電力レベルを確保してください。
- 設置場所で適切にアースし、雷や電力サージによる損傷を防止してください。

- シャーシでは、ユーザが動作範囲を選択できません。シャーシの正確なアプライアンス入力所要電力については、そのラベルを参照してください。
- シャーシには複数の種類の AC 入力電源コードを使用できます。設置場所に適したタイプを使用してください。
- デュアル冗長 (1+1) 電源を使用している場合は、各電源に独立した電気回路を使用することを推奨します。
- できるだけ、無停電電源装置を使用してください。

ラックの構成に関する考慮事項

シャーシのラックマウント手順については、[シャーシのラックマウント \(52 ページ\)](#) を参照してください。

ラックの構成を決めるときは、次のことを考慮してください。

- 標準 48.3 cm (19 インチ) 4 支柱 EIA ラック、ANSI/EIA-310-D-1992 のセクション 1 に準拠した英国ユニバーサルピッチに適合する取り付けレール付き。
- スライドレールのラックマウントと連動させるには、ラックマウント支柱が 2 ~ 3.5 mm 厚である必要があります。
- 開放型ラックにシャーシをマウントする場合、ラックのフレームで吸気口や排気口をふさがないように注意してください。
- 閉じる形式の前面扉および背面扉がラックにある場合は、適切なエアフローを確保するため、穴あき部分 (全体の 65 %) が扉の上部から下部まで均一に分散している必要があります。
- 閉鎖型ラックに十分な通気があることを確認してください。各シャーシで熱が発生するため、ラック内に装置を詰め込みすぎないように注意してください。冷気が回るように、閉鎖型ラックにはルーバーが付いた側面とファンが必要です。
- 閉鎖型ラックの上部に換気用ファンが付いている場合には、ラックの下段に設置した装置の熱が上昇し、上段の装置の吸気口から入り込む可能性があります。ラック下段の装置に対して、十分な換気が行われるようにしてください。
- バッフルは吸気から排気を分離するときに役立ちます。また、シャーシ内に冷気を取り込むためにも役立ちます。隔壁は、シャーシ内に冷気を行き渡らせるためにも有効です。隔壁の最適な取り付け位置は、ラック内の空気がどのように流れるかによって異なります。



第 3 章

シャーシのラックマウントとアース

- [シャーシの開梱と確認](#) (51 ページ)
- [シャーシのラックマウント](#) (52 ページ)
- [シャーシの接地](#) (57 ページ)

シャーシの開梱と確認



(注) シャーシは厳密に検査したうえで出荷されています。輸送中の破損や内容品の不足がある場合には、ただちにカスタマーサービス担当者に連絡してください。破損が原因でシャーシを返送する必要がある場合に備えて、輸送用の箱を保管しておいてください。

シャーシで標準装備になっている項目の一覧については、[パッケージの内容](#) (6 ページ) を参照してください。

- ステップ 1** 段ボール箱からシャーシを取り出します。梱包材はすべて保管しておいてください。
- ステップ 2** カスタマーサービス担当者から提供された機器リストと梱包品の内容を照合します。すべての品目が揃っていることを確認してください。
- ステップ 3** 破損の有無を調べ、内容品の間違いや破損がある場合には、カスタマーサービス担当者に連絡してください。次の情報を用意しておきます。
- 発送元の請求書番号 (梱包明細を参照)
 - 破損している装置のモデルとシリアル番号
 - 破損状態の説明
 - 破損による設置への影響

シャーシのラックマウント

この手順では、出荷時にシャーシに添付されているラックキットを使用してラックに Firepower 4100 を取り付ける方法を説明します。

このラックは、標準的な米国電子工業会 (EIA) ラックです。規格は4本支柱型EIA-310-Dで、EIAによって指定されている現行の改訂版です。垂直穴の間隔は、12.70 mm (0.50 インチ)、次が 15.90 mm (0.625 インチ)、その次が 15.90 mm (0.625 インチ) となり、この順序で繰り返されます。間隔の開始点および終了点は、12.70 mm (0.50 インチ) の穴の中央に位置します。水平方向の間隔は 465.1 mm (18.312 インチ) で、ラックの開口部は最小で 450 mm (17.75 インチ) に指定されています。

ラック (4本支柱型EIA-310-Dラック) にシャーシを取り付けるには、次のものがが必要です。

- No.1 プラス ドライバ
- スライドレール、固定金具、ネジを含む Firepower 4100 ラックマウントキット

スライドレールアセンブリは、4本支柱型ラック、およびラック支柱前面の角型スロット、7.1 mm 丸穴、10-32インチのネジ穴が付いたキャビネットに使用します。スライドレールは、ラック支柱の前面から背面へ 24 ~ 36 インチの間隔をとって使用します。スライドレールのラックマウントと連動させるには、ラックマウント支柱が 2 ~ 3.5 mm 厚である必要があります。



(注) レールの間に内部障害物があると、スライドレールの設置がより複雑になることがあります。支障なくスライドレールを設置するために、レールの間に内部障害物がないラックを使用します。

安全上の警告

次のラックマウントに関する安全上の警告に注意してください。



警告 ステートメント 1006 : ラックへの設置と保守に関するシャーシ警告

ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。次の注意事項に従ってください。

- ラックにこの装置を一基のみ設置する場合は、ラックの一番下方に設置します。
- ラックに別の装置がすでに設置されている場合は、最も重量のある装置を一番下にして、重い順に下から上へ設置します。
- ラックに安定器具が付属している場合は、その安定器具を取り付けてから、装置をラックに設置するか、またはラック内の装置の保守作業を行ってください。



警告 ステートメント 1032 : シャーシの持ち上げ

怪我またはシャーシの破損を防ぐために、モジュール（電源装置、ファン、カードなど）のハンドルを持ってシャーシを持ち上げたり、傾けたりすることは絶対に避けてください。これらのハンドルには、ユニットの重量を支える強度はありません。

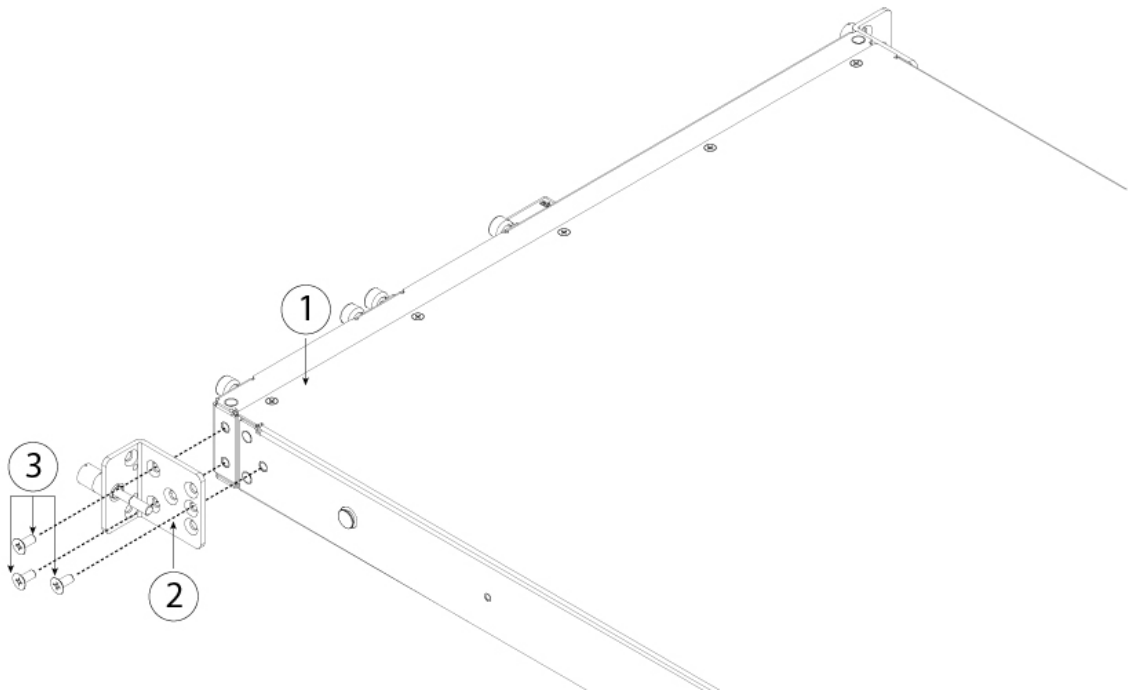


警告 ステートメント 1098—持ち上げに関する要件

製品の重い部分を持ち上げるには2人の人員が必要です。けがをしないように、背中をまっすぐにして、腰ではなく足に力を入れて持ち上げます。

ステップ 1 アクセサリキット付属の6本の8-32 X 0.375 インチプラスネジを使用して、シャーシのそれぞれの側にラックマウントブラケットを取り付けます。

図 36: シャーシ側面へのラックマウント ブラケットの取り付け



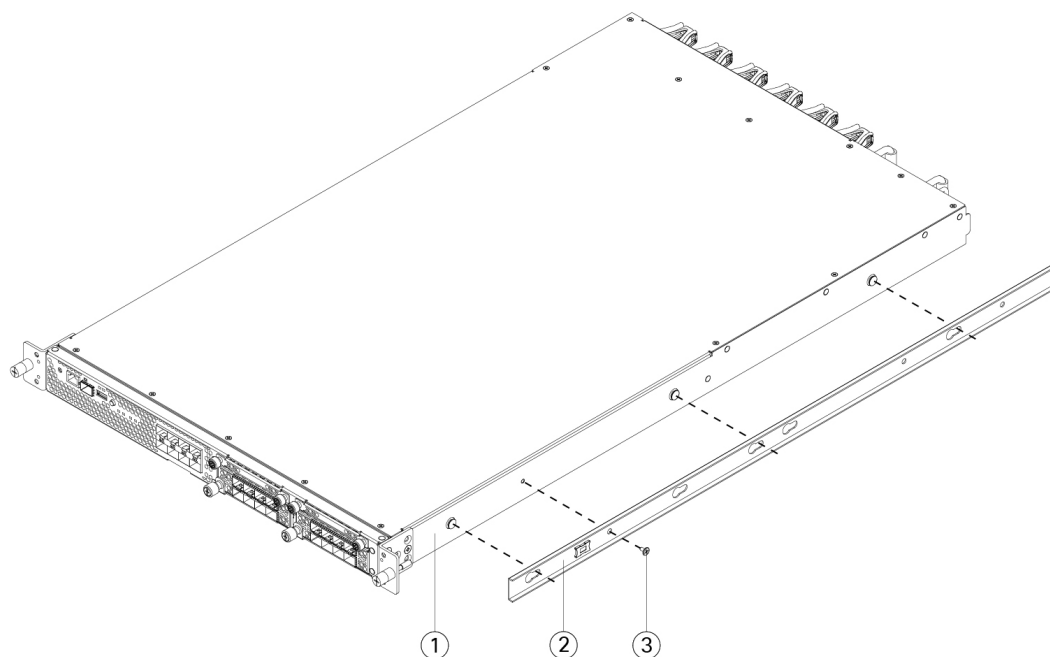
1	シャーシ	2	ラックマウントブラケット
3	8-32 X 0.375 インチプラスネジ (各側面に3本)		

ステップ 2 シャーシの側面に内側レールを装着します。

- a) スライド レール アセンブリから内側レールを取り外します。

- b) レール内の3つのキー付きスロットがシャーシ側面の3個のペグの位置に合うように、内側レールをシャーシの一方の側の位置に合わせます。
- c) キー付きスロットをペグに設定し、レールを前面に向けてスライドさせて、ペグの所定の位置にロックします。背面キー スロットには、ペグにロックするための金属製クリップがあります。
- d) M3 X 6 mm ネジ 1本を使用して、シャーシ側面に内側レールを固定します。
- e) 2番目の内側レールをシャーシの反対側に取り付けて、もう1本の M3 X 6 mm ネジで固定します。

図 37: シャーシ側面への内側レールの取り付け

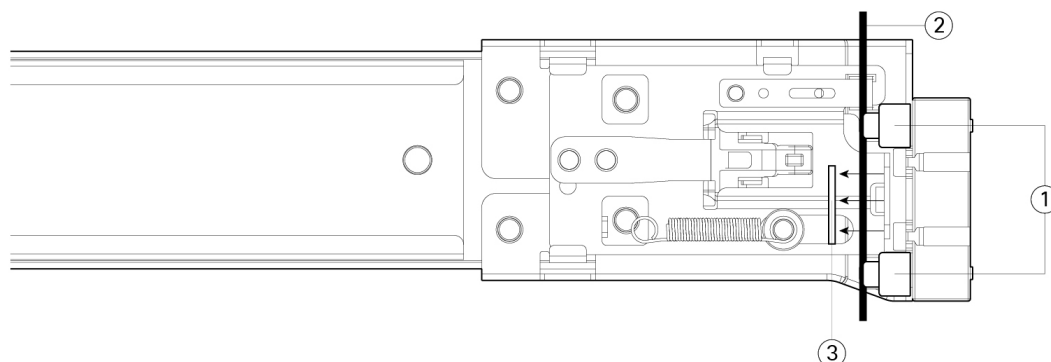


1	前面パネル側のシャーシ	2	内側レール
3	M3 X 6 mm ネジ (各側面に1本)		

ステップ3 両方のスライドレール部品で前面の固定プレートを開きます。スライドレール部品の前端に、バネ仕掛けの固定プレートがあります。取り付けペグをラック支柱の穴に挿入する前に、この固定プレートが開いている必要があります。

部品の外側で、背面を向いている緑色の矢印ボタンを押して、固定プレートを開きます。

図 38: 前端的内側の前面固定のメカニズム



1	前面側の取り付けペグ (注) 角型スロット、7.1 mm 穴、および 10-32 ネジ穴で使用	2	開いた位置に引き戻された固定プレート
3	ラック支柱	—	

ステップ 4 次の手順に従って、スライドレールをラックに取り付けます。

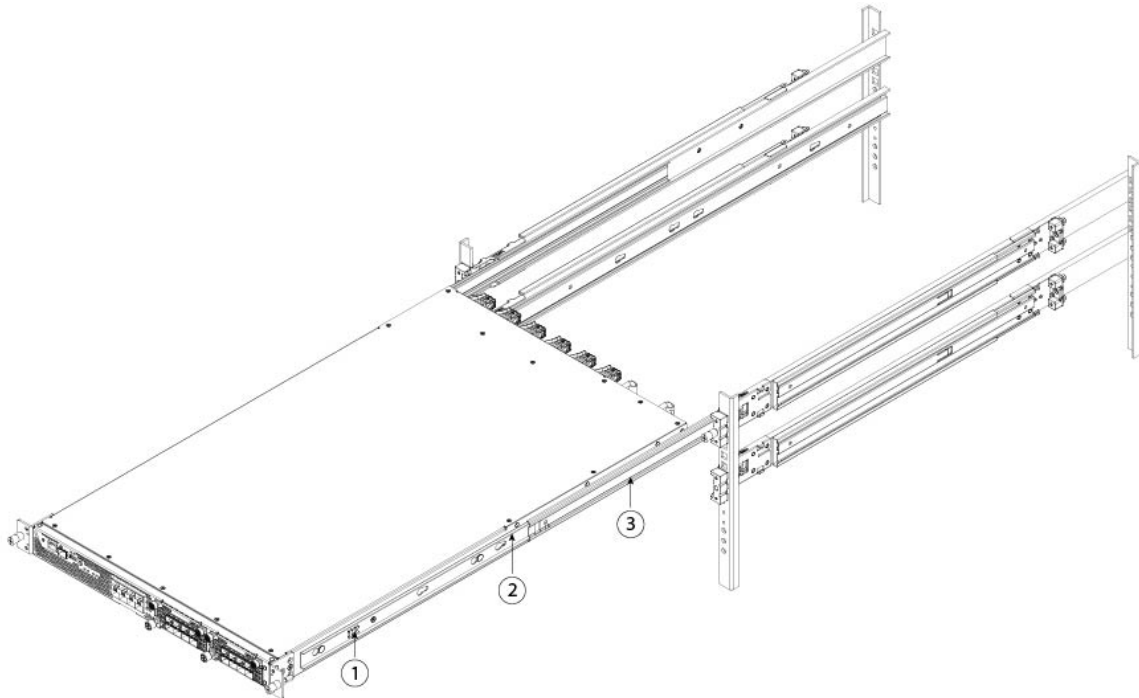
- a) 片側のスライドレール部品の前端を、使用する前面ラック支柱の穴の位置に合わせます。
スライドレールの前部がラック支柱の外側を回り込むように配置され、取り付けペグが外側の前部からラック支柱の穴に入ります。
(注) ラック支柱は、取り付けペグと開いた固定プレートの間にある必要があります。
- b) 取り付けペグを、外側前面からラック支柱の穴に差し込みます。
- c) 「PUSH」のマークが付いた固定プレートのリリースボタンを押します。ばね仕掛けの固定プレートが閉じて、ペグが所定の位置にロックされます。
- d) スライドレールの長さを調整したら、背面取り付けペグを対応する背面ラック支柱の穴に差し込みます。スライドレールは前面から背面に向かって水平である必要があります。
背面取り付けペグを、ラック支柱の内側から背面ラック支柱の穴に入れます。
- e) 2つ目のスライドレール部品を、ラックの反対側に取り付けます。2個のスライドレール部品が相互に同じ高さであり、水平になっていることを確認します。
- f) 所定の位置に収まって留まるまで、各部品の内側のスライドレールをラック前方へ引き出します。

ステップ 5 シャーシをスライドレールに装着します。

- a) シャーシの側面に装着されている内側レールの背面を、ラック上の空のスライドレールの前端の位置に合わせます。
- b) 内部の停止位置で止まるまで、内側レールをラック上のスライドレールに押し込みます。

- c) 両方の内側レールでリリースクリップを背面に向けてスライドさせたら、取り付けブラケットがスライドレールの前面と一致するまで、シャーシをラックに押し込みます。

図 39: 内側レールのリリースクリップ



1	内側レールのリリースクリップ	2	シャーシに装着されている内側レール
3	ラック支柱に装着されている外側レール		

ステップ 6 取り付けブラケットの前面に非脱落型ネジを使用してシャーシをラックに完全に固定します。

次のタスク

シャーシを接地します。手順については、[シャーシの接地 \(57ページ\)](#) を参照してください。

必要に応じて、FIPS 不透明シールドを取り付けます。手順については、[FIPS 不透明シールドの取り付け \(83 ページ\)](#) を参照してください。

『[Cisco Firepower 4100 Getting Started Guide](#)』[英語]に記載されているソフトウェア設定に従ってケーブルを取り付けます。

シャーシの接地



- (注) ラックがすでにアースされている場合でも、シャーシをアースすることが必要です。シャーシには、アースラグを接続するための、M4 ネジ穴が2つあるアースパッドが付いています。アースラグは、米国国家認定試験機関 (NRTL) に登録されている必要があります。また、銅製の導体 (線) を使用する必要があります、この導体は電流容量に関する National Electrical Code (NEC) の規定に適合していなければなりません。

次のものをユーザー自身で用意する必要があります。

- ワイヤストリップ
- 圧着工具
- アース線
- アースラグを固定するために使用する 10-32 X 0.375 インチネジ用のスターロックワッシャー 2 個
- アクセサリ キットに含まれている次のものがが必要です。
 - アースラグ #6 AWG、90 度、#10 支柱
 - アースラグを固定するために使用する 2 本の 10-32 X 0.375 インチネジ

安全上の警告

次のアース接続に関する警告に注意してください。



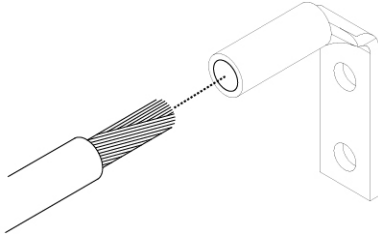
警告 ステートメント 1024 : アース導体

この装置は、接地させる必要があります。感電のリスクを軽減するため、絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。

ステップ 1 ワイヤストリップを使用して、アース線の端から 0.75 インチ (19 mm) ほど、被膜をはがします。

ステップ 2 むき出しになったアース線の端を、アースラグの開放端に差し込みます。

図 40: アース ラグへのケーブルの挿入



- ステップ 3** 圧着工具を使用して、アース ラグにアース線を固定します。
- ステップ 4** シャーシのアース パッドに貼られているラベルをはがします。
- ステップ 5** 金属どうしがぴったり接触するように、アースラグをアースパッド上に重ね、アースラグとアースパッドの穴に、ワッシャ付きの 2 本のネジを差し込みます。
- ステップ 6** アース ラグおよびアース線が他の機器の妨げにならないことを確認します。
- ステップ 7** アース線の反対側の端を処理し、設置場所の適切なアースに接続して、シャーシに十分なアースが確保されるようにします。

次のタスク

必要に応じて、FIPS 不透明シールドを取り付けます。手順については、[FIPS 不透明シールドの取り付け \(83 ページ\)](#) を参照してください。

『[Cisco Firepower 4100 Getting Started Guide](#)』 [英語] に記載されているデフォルトのソフトウェア設定に従ってケーブルを取り付けます。



第 4 章

設置、メンテナンス、アップグレード

- ネットワークモジュールの取り付け、取り外し、交換 (59 ページ)
- ファン モジュールの取り外しと交換 (63 ページ)
- SSD の取り外しと交換 (65 ページ)
- 電源モジュールの取り外しと交換 (68 ページ)
- DC 電源モジュールの接続 (73 ページ)
- AC 電源モジュールの電源コードの保護 (79 ページ)
- FIPS 不透明シールドの取り付け (83 ページ)

ネットワークモジュールの取り付け、取り外し、交換

ホットスワップ

FXOS 2.3.1 以降、Firepower 10-Gb および 40-Gb ネットワークモジュールでは（ハードウェアバイパス非対応で）ホットスワップがサポートされていますが、同一のネットワークモジュール（つまり同じ PID のネットワークモジュール）でホットスワップを行う必要があります。ネットワーク モジュール PID については、[製品 ID 番号 \(34 ページ\)](#) を参照してください。ネットワーク モジュールをシャーシから取り外す前に、適切な CLI コマンドを使用してネットワーク モジュールをオフラインにする必要があります。そうすることにより、すべてのネットワーク モジュールの設定が保存されます。『[Cisco FXOS Firepower Chassis Manager Configuration Guide](#)』の「セキュリティ モジュール/エンジン管理」の章にある「ネットワーク モジュールのオフラインまたはオンラインの切り替え」のトピックを参照してください。



注意 適切な CLI コマンドを使用して正しくオフラインにせずネットワーク モジュールを取り外すことはお勧めしません。



(注) ホットスワップをサポートするには、Supervisor に ROMMON 1.0.10 以降がなければなりません。ROMMON のアップグレード手順については、お使いのソフトウェアバージョンの『Cisco FXOS Firepower Chassis Manager コンフィギュレーションガイド』で、「ファームウェアアップグレード」のトピックを参照してください。

ホットスワップが現在サポートされていないネットワークモジュールを取り外して交換するには、シャーシの電源を切ってネットワークモジュールを交換し、その後シャーシの電源を入れ直してください。

ネットワークモジュールをデコミッションして物理的に取り外し、交換しない場合や、別の PID に交換する場合は、確認応答が必要です。『Cisco FXOS Firepower Chassis Manager Configuration Guide』の「Security Module/Engine Management」の章にある「Acknowledge a Network Module」のトピックを参照してください。

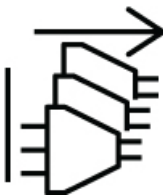
安全上の警告

次のコンポーネント交換に関する安全上の警告に注意してください。



警告 ステートメント 1028—複数の電源

この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。感電の危険を減らすために、すべての接続を取り外してユニットの電源を切ります。



警告 ステートメント 1073—ユーザが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



警告 ステートメント 1089—教育を受けた担当者および熟練者の定義

教育を受けた担当者とは、熟練者から教育やトレーニングを受け、機器を操作する際に必要な予防措置を講じられる人です。

熟練者または資格保持者とは、機器の技術に関するトレーニングを受けているか経験があり、機器を操作する際に潜む危険を理解している人です。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

**警告** ステートメント 1090—熟練者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、熟練者のみが実施できます。熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

**警告** ステートメント 1091—教育を受けた担当者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、教育を受けた担当者または熟練者のみが実施できます。教育を受けた担当者または熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

この手順では、ネットワークモジュールを搭載したことのない空のスロットにネットワークモジュールを取り付ける方法と、取り付けられているネットワークモジュールを取り外して別のネットワークモジュールと交換する方法について説明します。

ステップ 1 新しいネットワークモジュールを空のスロットに初めて取り付けの場合は、次の手順を実行します。

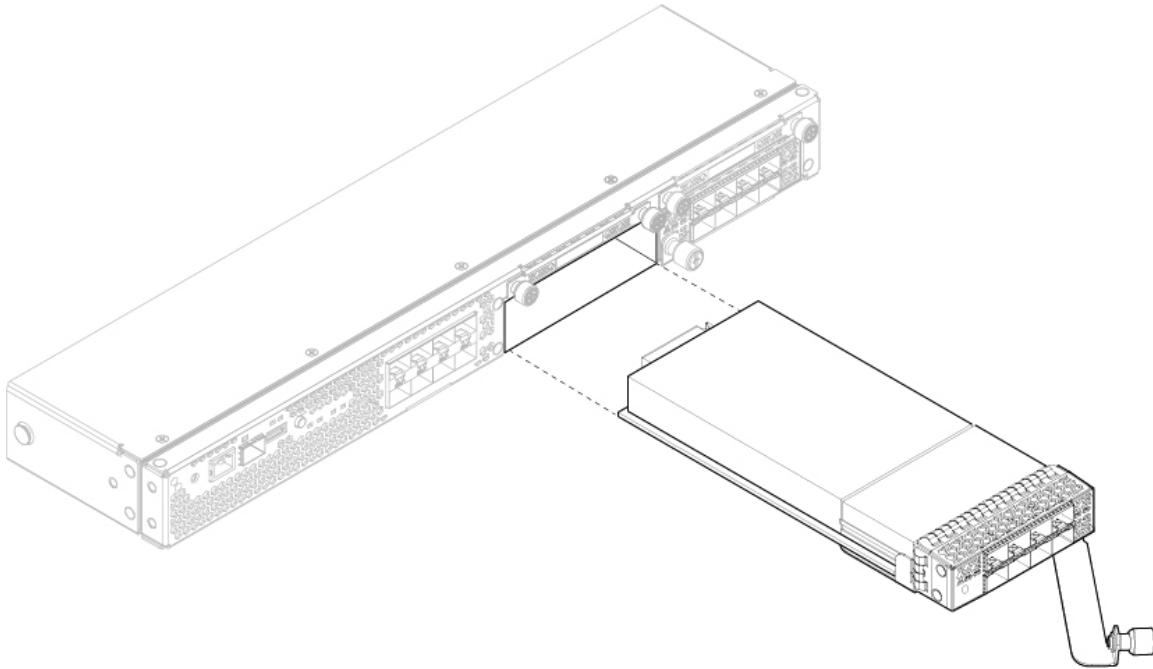
- a) 電源スイッチをオフの位置に動かしてシャーシの電源を切ります。
電源スイッチの詳細については、[背面パネル \(12 ページ\)](#) を参照してください。
- b) ステップ 4～7 を実行して、新しいネットワークモジュールを取り付けます。
- c) 電源スイッチをオンの位置に動かしてシャーシの電源を入れます。
新しいネットワークモジュールの状態は OIR Failed です。
- d) ネットワークモジュールのステータスを Online に変更するには、シャーシを再起動します。ご使用のソフトウェアバージョンの『[FXOS Configuration Guide](#)』[英語]で「System Administration」の章にある「Rebooting the Firepower 4100/9300 Chassis」のトピックを参照してください。

ステップ 2 既存のネットワークモジュールを取り外して交換するには、次のいずれかを実行します。

- a) 設定を保存します。
- b) 電源スイッチをオフの位置に動かしてシャーシの電源を切ります（取り外すネットワークモジュールでホットスワップがサポートされていない場合）。
電源スイッチの詳細については、[背面パネル \(12 ページ\)](#) を参照してください。
- c) 適切な CLI コマンドを使用してネットワークモジュールをオフラインにします（取り外すネットワークモジュールでホットスワップがサポートされている場合）。すべてのネットワークモジュールの設定が保存されます。『[FXOS Configuration Guide](#)』[英語]の「Taking a Network Module Offline or Online」の章にある「Taking a Network Module Offline or Online」のトピックを参照してください。
- d) ステップ 3 に進みます。

ステップ3 ネットワークモジュールをシャーシから取り外すには、ネットワークモジュールの左下の非脱落型ネジをゆるめ、ネジに接続されているハンドルを引き出します。これによりネットワークモジュールがスロットから機械的に排出されます。

図 41: ネットワークモジュールの取り外し



スロットを空のままにしておく場合は、適切なエアフローを確保し、シャーシ内へのほこりの浸入を防ぐために、ブランク前面プレートを取り付けます。ブランクプレートを取り付けない場合は、別のネットワークモジュールを取り付けてください。

ステップ4 ネットワークモジュールを交換するには、シャーシの右側のネットワークモジュールスロットの前でネットワークモジュールを保持し、ネットワークモジュールのハンドルを引き出します。

ステップ5 スロット内にネットワークモジュールをスライドさせて、ハンドルがネットワークモジュールの前面と同一平面になる位置までしっかり押し込みます。

ステップ6 ネットワークモジュールの左下にある非脱落型ネジを締めます。

ステップ7 次のいずれかを実行します。

- a) シャーシの電源を入れると、新しいネットワークモジュールが認識されます（新しいネットワークモジュールでホットスワップがサポートされていない場合）。
- b) 適切な CLI コマンドを使用して、新しいネットワークモジュールをオンラインにします（新しいネットワークモジュールでホットスワップがサポートされている場合）。ネットワークモジュールがオンラインに戻ると、保存されたネットワークモジュールの設定が自動的に再適用されます。

(注) 元のネットワークモジュールとは異なる PID のネットワークモジュールを取り付けると、保存された設定は削除され、デフォルト設定が適用されます。 **acknowledge** コマンドを入力して、ネットワークモジュール PID の変更を確認する必要があります。

次のタスク

『[FXOS Configuration Guide](#)』の手順に従って、ネットワーク モジュールに接続し、モジュールが Firepower 4100 によって正しく検出されたことを確認します。

ファン モジュールの取り外しと交換

システムの稼働中にファンモジュールを取り外して交換できます。エアフローは前面から背面に流れます。ファンを取り外すかまたはファンが故障した場合は他のファンがフルスピードで稼働し、ファンの騒音が大きくなる可能性があります。

システムは、(N+1 のファン冗長構成で) 1つのファンの障害時の運用をサポートしていますが、すべてのファンモジュールが設置されていない状態でシステムを長時間実行しないでください。取り外しおよび交換は3分以内で行ってください。一度に取り外しおよび交換できるファンモジュールは1つです。



注意 ファンをファンスロットに合わせたら、5秒以内に新しいファンを挿入します。完全に装着する前に、ファンモジュールを部分的にかみ合わせたり、ファンを間違った方向に回転させたりしないでください。

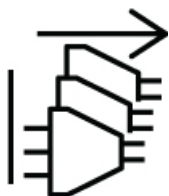
安全上の警告

次のコンポーネント交換に関する安全上の警告に注意してください。



警告 ステートメント 1028—複数の電源

この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。感電の危険を減らすために、すべての接続を取り外してユニットの電源を切ります。



警告 ステートメント 1073—ユーザが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

**警告** ステートメント 1089—教育を受けた担当者および熟練者の定義

教育を受けた担当者とは、熟練者から教育やトレーニングを受け、機器を操作する際に必要な予防措置を講じられる人です。

熟練者または資格保持者とは、機器の技術に関するトレーニングを受けているか経験があり、機器を操作する際に潜む危険を理解している人です。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

**警告** ステートメント 1090—熟練者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、熟練者のみが実施できます。熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

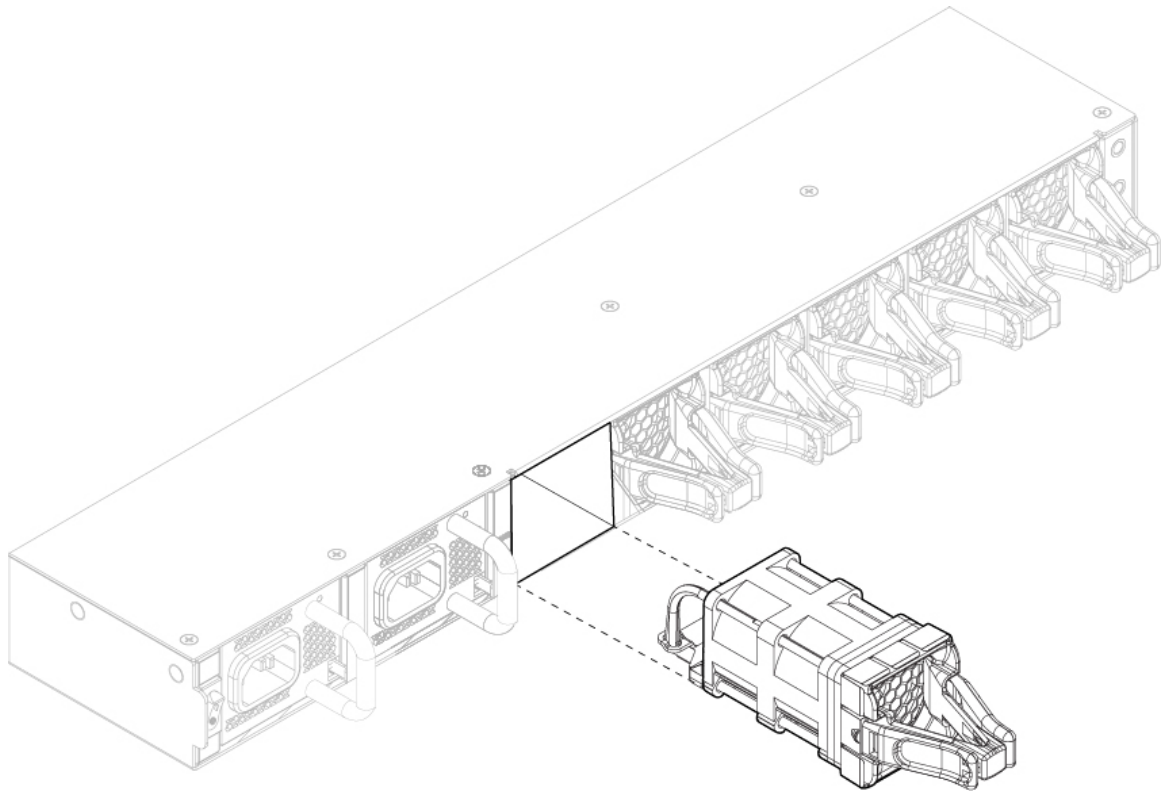
**警告** ステートメント 1091—教育を受けた担当者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、教育を受けた担当者または熟練者のみが実施できます。教育を受けた担当者または熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

- ステップ 1** ファンモジュールを取り外すには、シャーシの背面に向かって、ファンモジュールのハンドルを握ります。
- ステップ 2** ハンドルをしめて、ファンモジュールの左右のラッチを外します。
- ステップ 3** ファンモジュールをシャーシから引き抜きます。

図 42: ファン モジュールの取り外し



ステップ 4 ファン モジュールを交換するには、ファン スロットの前にファン モジュールを保持します。

ステップ 5 ファン モジュールをシャーシに差し込み、モジュールが適切に装着されてラッチがかかるまで押し込みます。

システムの電源がオンになったら、ファンの動作音を確認します。ただちに、ファンの動作音が聞こえません。動作音が聞こえない場合には、ファン モジュールがシャーシ内に完全に装着され、前面プレートがシャーシの外側と揃っていることを確認してください。

ステップ 6 ファン モジュールの LED をチェックして、ファンが動作していることを確認します。ファンの LED については、[前面パネル LED \(11 ページ\)](#) を参照してください。

SSD の取り外しと交換

ハードウェア レベルでは、システムの稼働中に SSD を取り外して交換できますが、現時点では、ソフトウェアはホット スワップに対応していません。SSD の取り外しおよび交換を行うにはシャーシの電源を切る必要があります。



- (注) Firepower 4100 で Firepower Threat Defense ソフトウェアを実行している場合、SSD 管理パフォーマンスと寿命を強化するソフトウェアアップデートを活用するため、最新のバージョンにアップグレードすることをお勧めします。

ストレージ SSD は、スロット 1 に取り付け、存在している必要があります。スロット 1 は、論理デバイスアプリケーションインスタンス（脅威防御または ASA）用に予約されています。2 番目の SSD スロット（SSD スロット 2）にはオプションの MSP のみを取り付けることができます。MSP は、今後の分析に使用するために脅威の検出結果を保存します。MSP は、Advanced Malware Protection ソフトウェア機能をサポートします。MSP は FXOS 2.0.1 からサポートされました。MSP は、ストレージとして、またマルウェア アプリケーション リポジトリとしても使用されます。RAID はサポートされていません。



- 注意** 2 つの SSD を切替えないでください。ストレージ SSD は、スロット 1 に取り付ける必要があります。オプションの MSP SSD は、スロット 2 に取り付ける必要があります。これを取り外してスロット 1 に取り付けると、保存されているすべてのファイル キャプチャ データは失われます。

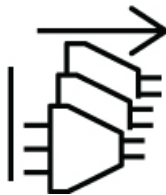
安全上の警告

次のコンポーネント交換に関する安全上の警告に注意してください。



警告 ステートメント 1028—複数の電源

この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。感電の危険を減らすために、すべての接続を取り外してユニットの電源を切ります。



警告 ステートメント 1073—ユーザが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

**警告** ステートメント 1089—教育を受けた担当者および熟練者の定義

教育を受けた担当者とは、熟練者から教育やトレーニングを受け、機器を操作する際に必要な予防措置を講じられる人です。

熟練者または資格保持者とは、機器の技術に関するトレーニングを受けているか経験があり、機器を操作する際に潜む危険を理解している人です。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

**警告** ステートメント 1090—熟練者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、熟練者のみが実施できます。熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

**警告** ステートメント 1091—教育を受けた担当者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、教育を受けた担当者または熟練者のみが実施できます。教育を受けた担当者または熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

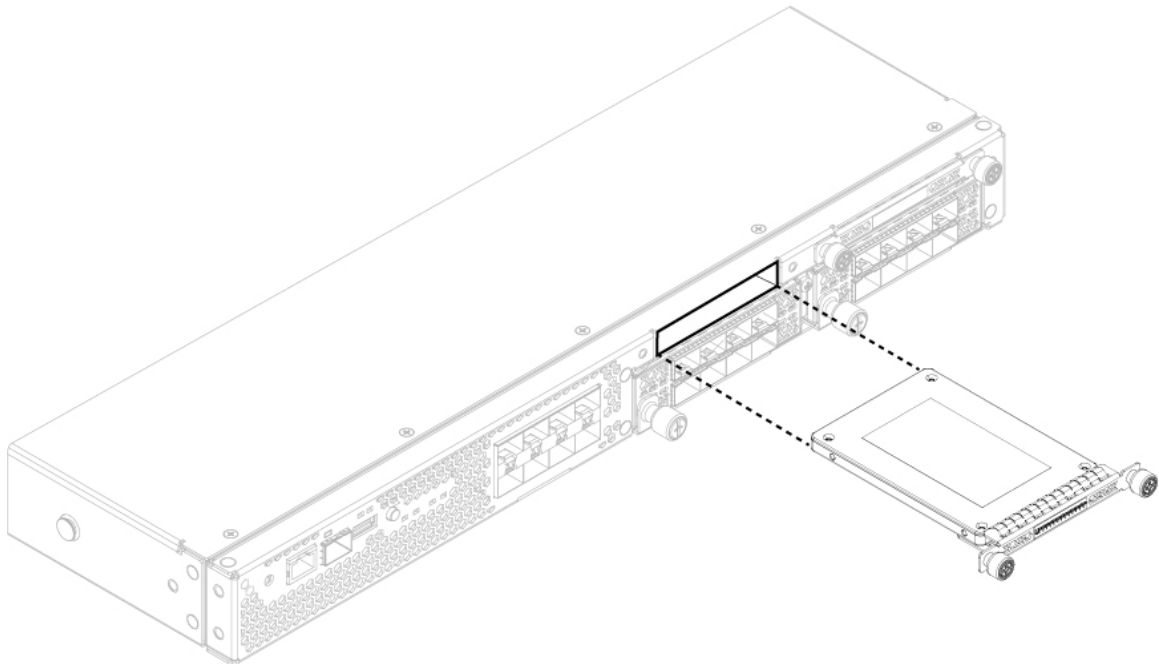
内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

ステップ 1 設定を保存します。

ステップ 2 電源スイッチをオフの位置に動かしてシャーシの電源を切ります。電源スイッチの詳細については、[機能 \(1 ページ\)](#) を参照してください。

ステップ 3 SSD を取り外すには、シャーシの前面に向かって、SSD の 2 つの非脱落型ネジをゆるめ、シャーシのスロット 1 から無理な力を加えずに引き出します。

図 43: SSD の取り外し



- ステップ 4** SSD を交換するには、電源スイッチがオフの位置になっていることを確認してから、スロット 1 の前で SSD を保持し、無理な力を加えずに固定されるまで押し込みます。
- ステップ 5** MSP SSD を取り付けるには、電源スイッチがオフの位置になっていることを確認してから、前面プレートの両側の非脱落型ネジをゆるめて、スロット 2 のブラנקの前面プレートを取り外します。
- ステップ 6** スロット 2 の前に MSP SSD を保持し、無理な力を加えずに固定されるまで押し込みます。
- 注意** 2 つの SSD を切替えないでください。スロット 2 にはオプションの MSP SSD のみを取り付けることができます。これを取り外してスロット 1 に取り付けると、保存されているすべてのファイルキャプチャデータは失われます。
- ステップ 7** SSD の両側にある非脱落型ネジを締めます。
- ステップ 8** SSD の LED をチェックして、SSD が動作していることを確認します。ファンの LED については、[前面パネル LED \(11 ページ\)](#) を参照してください。

電源モジュールの取り外しと交換

システムの稼働中に、電源モジュールを取り外して交換することができます。

安全上の警告

次の電源およびコンポーネントの取り外しに関する安全上の警告に注意してください。



警告 ステートメント 1003 : DC 電源の切断

感電や怪我のリスクを軽減するために、コンポーネントの取り外しや交換、またはアップグレードを実行する前に、DC 電源を切断してください。



警告 ステートメント 1005—回路ブレーカー

この製品は、設置する建物にショート（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。感電または火災のリスクを軽減するため、保護対象の装置は次の定格を超えないようにします。

AC : 20A

DC : 40A



警告 ステートメント 1017 : 立ち入り制限区域

この装置は、出入りが制限された場所に設置されることを想定しています。熟練者、教育を受けた担当者、または資格保持者のみが立ち入り制限区域に入ることができます。



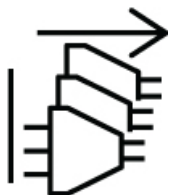
警告 ステートメント 1022—デバイスの切断

感電または火災のリスクを軽減するため、容易にアクセス可能な切断装置を固定配線に組み込む必要があります。



警告 ステートメント 1028—複数の電源

この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。感電の危険を減らすために、すべての接続を取り外してユニットの電源を切ります。





警告 ステートメント 1029 : ブランクの前面プレートおよびカバー パネル

ブランクの前面プレートおよびカバーパネルには、3つの重要な機能があります。感電および火災のリスクを軽減すること、他の装置への電磁波干渉（EMI）の影響を防ぐこと、およびシャーシ内の冷気の流れを適切な状態に保つことです。システムは、必ずすべてのカード、前面プレート、前面カバー、および背面カバーを正しく取り付けられた状態で運用してください。



警告 ステートメント 1073—ユーザが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



警告 ステートメント 1046 : 装置の設置または交換

感電のリスクを軽減するため、装置を設置または交換するときには、必ずアースを最初に接続し、最後に取り外します。

装置にモジュールがある場合は、提供されたネジで固定してください



警告 ステートメント 1089—教育を受けた担当者および熟練者の定義

教育を受けた担当者とは、熟練者から教育やトレーニングを受け、機器を操作する際に必要な予防措置を講じられる人です。

熟練者または資格保持者とは、機器の技術に関するトレーニングを受けているか経験があり、機器を操作する際に潜む危険を理解している人です。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



警告 ステートメント 1090—熟練者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、熟練者のみが実施できます。熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



警告 ステートメント 1091—教育を受けた担当者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、教育を受けた担当者または熟練者のみが実施できます。教育を受けた担当者または熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

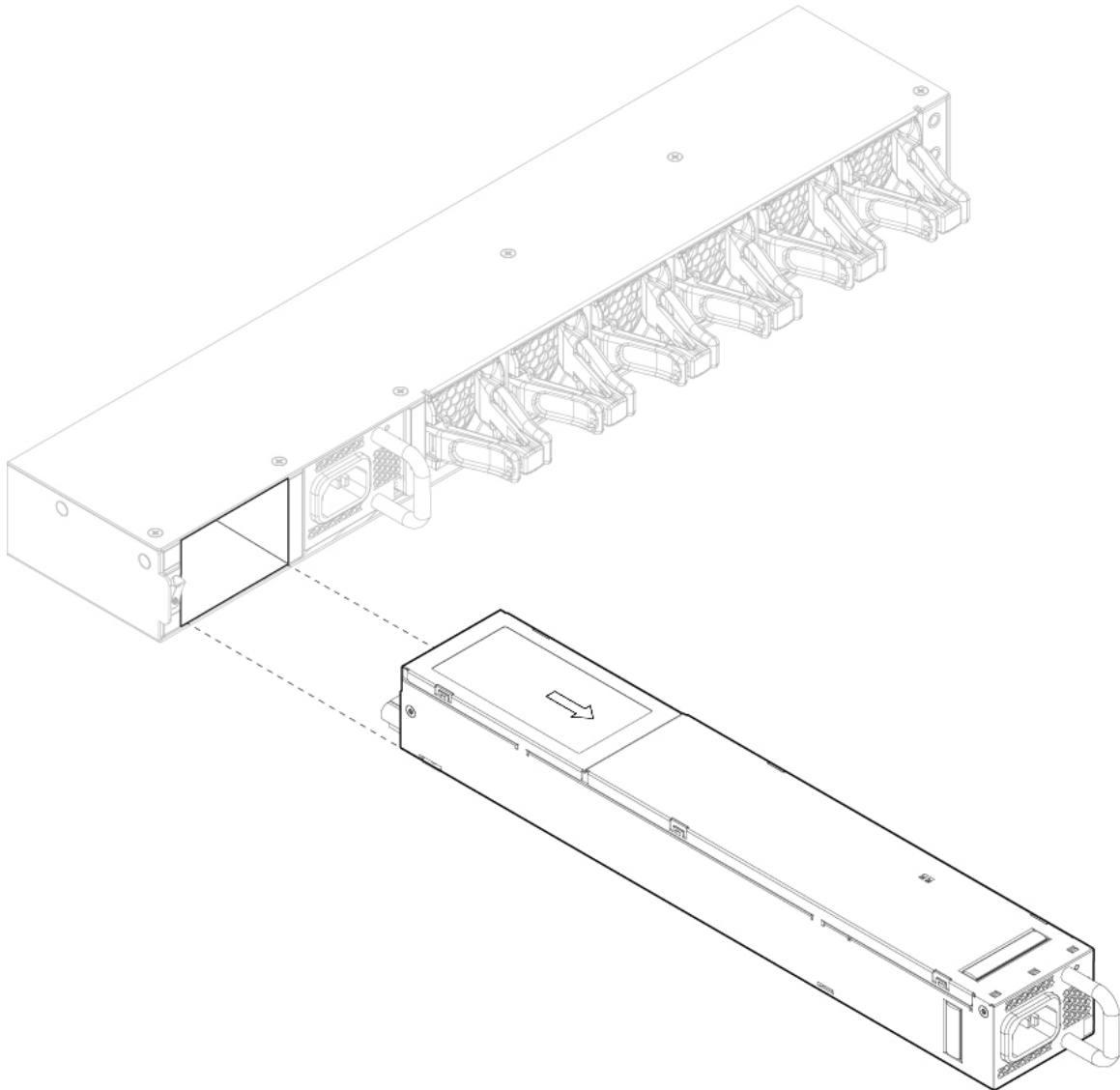
内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

ステップ 1 電源モジュールを取り外すには、シャーシの背面に向かってハンドルを握ります。

ステップ 2 電源の右下にあるラッチを押して、電源を外します。

ステップ 3 シャーシから引き出すときは、もう一方の手を電源モジュールの底面に添えて支えてください。

図 44: 電源モジュールの取り外し



スロットを空のままにしておく場合は、適切なエアフローを確保し、シャーシ内へのほこりの浸入を防ぐために、ブランク前面プレートを取り付けます。ブランクプレートを取り付けない場合は、別の電源モジュールを取り付けてください。

- ステップ 4** 電源モジュールを交換するには、電源モジュールを両手で持ち、電源モジュールベイに差し込みます。
- ステップ 5** ラッチがかみ合う音がして固定されるまで、電源モジュールをゆっくりと押します。電源モジュールのLEDをチェックして、電源モジュールが正常に作動していることを確認します。電源モジュールのLEDについては、[電源モジュール \(27 ページ\)](#) を参照してください。

DC 電源モジュールの接続

この手順では、シャーシの背面の PDU にある Firepower 4100 の DC 入力電源に DC 電源の入力電源の導線を取り付ける方法を説明します。

はじめる前に

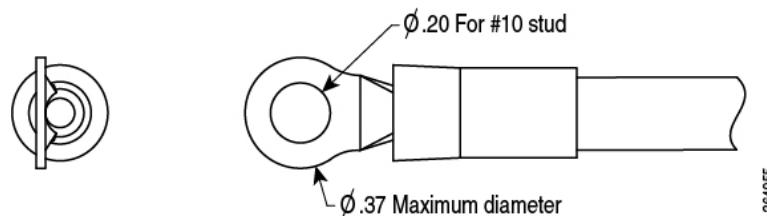
- DC 入力電源モジュールの導線のカラーコーディングは、設置場所の DC 電源のカラーコーディングによって異なります。DC 入力電源モジュール用に選択した導線のカラーコーディングが、DC 電源で使用される導線のカラーコーディングに一致していること、および電源が電源モジュールのマイナス (-) 端子とプラス (+) 端子に接続されていることを確認してください。
- DC 入力電源ケーブルには、公称 DC 入力電圧 (-40/-72 VDC) での 26 A 供給に関する National Electrical Code (NEC) および地域の規則に基づいたワイヤゲージを使用します。配電装置 (PDU) ごとに、DC 供給 (-) と DC 供給リターン (+) のケーブルペアが 1 組必要です。これらのケーブルは、一般のケーブル取扱業者から入手可能です。シャーシに接続するすべての DC 入力電源ケーブルには 10 ワイヤゲージのものを使用し、その長さは 10% の偏差の範囲内にする必要があります。
- 必要なツール：
 - プラス ドライバ
 - 10 mm のレンチまたはソケット
 - DC 回路用のコネクタおよび配線

次の図に示すように、それぞれの DC 入力電源ケーブルはケーブル端子によって PDU で終端されています。



- (注) DC 入力電源ケーブルは、PDU の端子ブロックに正しい極性で接続する必要があります。極性を示すラベルを付けた DC ケーブルを使用すると、安全な接続のうえで便利です。それでも、極性を確実に判断するために、DC ケーブル間の電圧を測定してください。測定を行う際には、プラス (+) 導線およびマイナス (-) 導線は必ず配電ユニットの (+) および (-) ラベルに一致させます。

図 45: DC 入力電源ケーブル用端子





- (注) 感電の危険を防止するために、DC 入力電源が露出する部分にあるすべての部品は適切に絶縁する必要があります。したがって、DC ケーブル端子を取り付ける前に、その製造元の指示に従ってラグを必ず絶縁しておきます

安全上の警告

次の電源およびコンポーネントの取り外しに関する安全上の警告に注意してください。



警告 ステートメント 1003 : DC 電源の切断

感電や怪我のリスクを軽減するために、コンポーネントの取り外しや交換、またはアップグレードを実行する前に、DC 電源を切断してください。



警告 ステートメント 1005—回路ブレーカー

この製品は、設置する建物にショート（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。感電または火災のリスクを軽減するため、保護対象の装置は次の定格を超えないようにします。

AC : 20A

DC : 40A



警告 ステートメント 1017 : 立ち入り制限区域

この装置は、出入りが制限された場所に設置されることを想定しています。熟練者、教育を受けた担当者、または資格保持者のみが立ち入り制限区域に入ることができます。

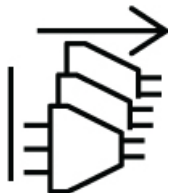


警告 ステートメント 1022—デバイスの切断

感電または火災のリスクを軽減するため、容易にアクセス可能な切断装置を固定配線に組み込む必要があります。

**警告** ステートメント 1028—複数の電源

この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。感電の危険を減らすために、すべての接続を取り外してユニットの電源を切ります。

**警告** ステートメント 1029 : ブランクの前面プレートおよびカバー パネル

ブランクの前面プレートおよびカバーパネルには、3つの重要な機能があります。感電および火災のリスクを軽減すること、他の装置への電磁波干渉（EMI）の影響を防ぐこと、およびシャーシ内の冷気の流れを適切な状態に保つことです。システムは、必ずすべてのカード、前面プレート、前面カバー、および背面カバーを正しく取り付けられた状態で運用してください。

**警告** ステートメント 1073—ユーザが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

**警告** ステートメント 1046 : 装置の設置または交換

感電のリスクを軽減するため、装置を設置または交換するときには、必ずアースを最初に接続し、最後に取り外します。

装置にモジュールがある場合は、提供されたネジで固定してください

**警告** ステートメント 1089—教育を受けた担当者および熟練者の定義

教育を受けた担当者とは、熟練者から教育やトレーニングを受け、機器を操作する際に必要な予防措置を講じられる人です。

熟練者または資格保持者とは、機器の技術に関するトレーニングを受けているか経験があり、機器を操作する際に潜む危険を理解している人です。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

**警告** ステートメント 1090—熟練者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、熟練者のみが実施できます。熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

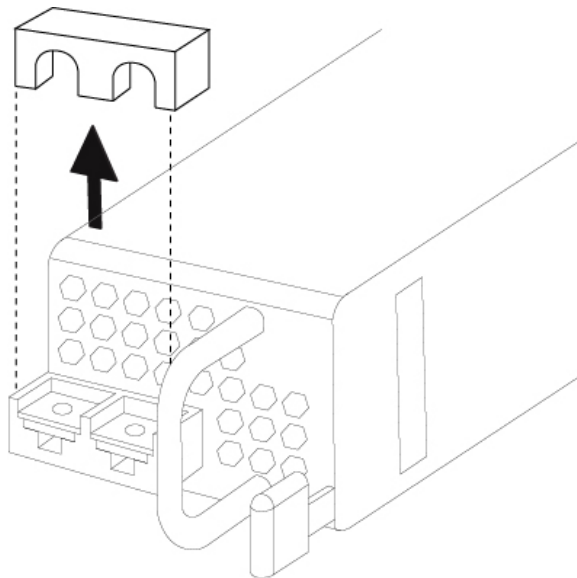
**警告** ステートメント 1091—教育を受けた担当者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、教育を受けた担当者または熟練者のみが実施できます。教育を受けた担当者または熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

- ステップ 1** DC 電源モジュールをシャーシに取り付け、ベイ番号を書き留め、シャーシの背面の DC 電源モジュールの正しい端子に配線を接続できるようにします。手順については、[電源モジュールの取り外しと交換 \(68 ページ\)](#) を参照してください。
- ステップ 2** 取り付ける電源モジュールの DC 回路への電源がオフになっていることを確認します。
- ステップ 3** 設置場所の電源およびアースのすべての要件が満たされていることを確認します。
- ステップ 4** 端子ブロックからプラスチックカバーを取り外すには、プラスチックカバーの横にフラットスクロースドライバを挿入してこじあけます。

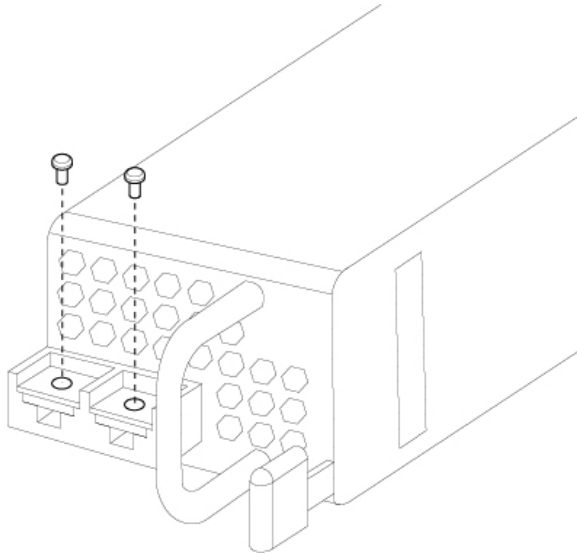
図 46: プラスチックカバーの取り外し



ステップ 5 アース線およびプラスチック カバーに金属の導線が触れないようにするには、プラスおよびマイナスの導線ケーブルをスリーブで覆う必要があります。絶縁されていない圧着端子を使用する場合は、各導線に縮小スリーブを付けて、ラグを絶縁します。絶縁端子にはスリーブは不要です。

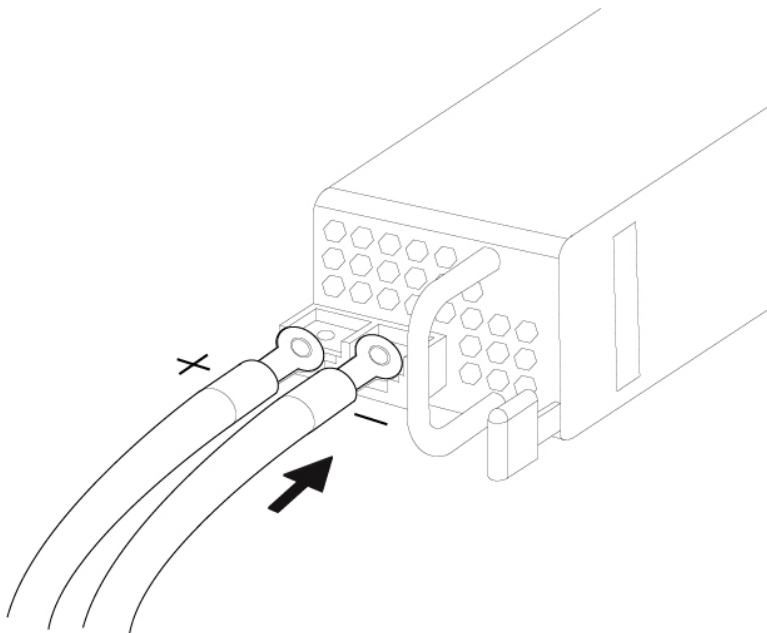
ステップ 6 2 本の M5 ネジを取り外します。

図 47: M5 ネジの取り外し



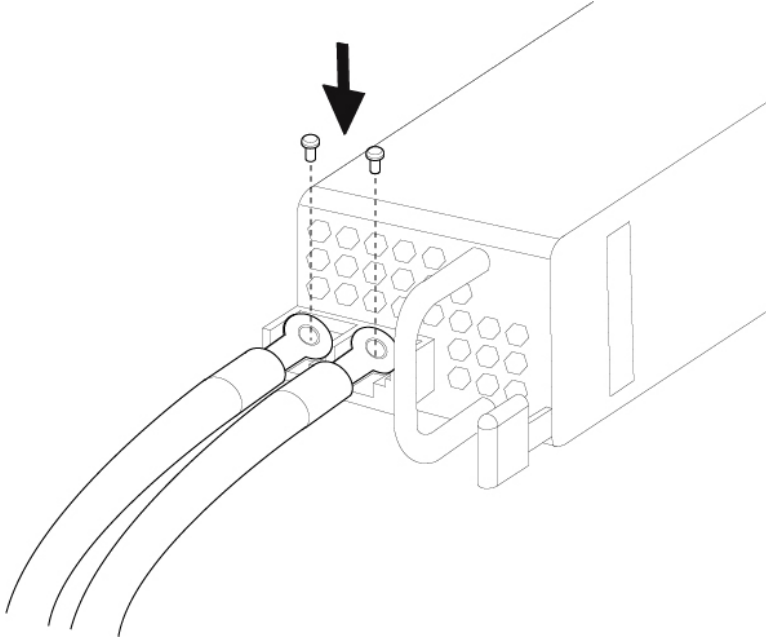
ステップ 7 ケーブル管理を容易に行うため、まずマイナスの導線ケーブルを差し込みます。ワイヤの端子、次に抜け止めワッシャの付いたネジの順にアース ラグをケーブルと交換します。

図 48: ケーブルの挿入



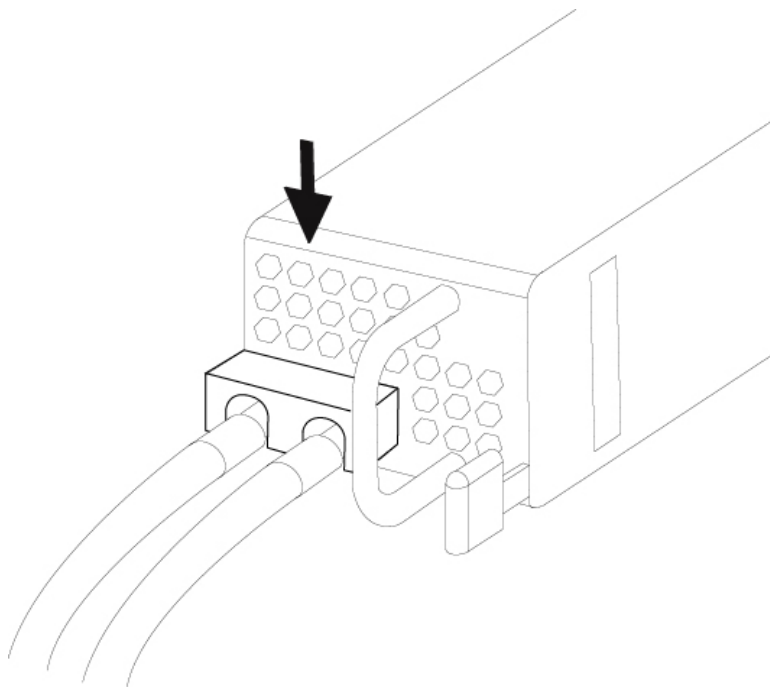
- ステップ 8** プラススタッドとワイヤを、抜け止めワッシャの付いた M5 ネジで 5 インチ ポンドの推奨トルクで締めます。端子ブロックから伸びるワイヤを、日常的な接触で障害が発生しないように固定します。

図 49: M5 ネジの締付け



- ステップ 9** 端子ブロックのプラスチックカバーを元に戻します。端子ブロックの形状に合致するように、プラスチックカバーは形状調整が施され、ケーブルを通すスロットが空けてあります。端子に電力を印可する際には、このカバーが必ず取り付けられている必要があります。

図 50: プラスチック カバーの再取り付け



- ステップ 10** 回線の DC 切断スイッチを ON に設定します。複数の電源装置が搭載されているシステムでは、各電源装置をそれぞれ別の DC 電源に接続してください。電源障害が発生した場合に、2 番目の電源がまだ使用可能な場合は、システム動作を維持できます。
- ステップ 11** シャーシの前面の電源 LED で、電源の動作状況を確認します。LED の説明については、[前面パネル LED \(11 ページ\)](#) を参照してください。

AC 電源モジュールの電源コードの保護

タイラップおよびクランプ

電源モジュールを誤って取り外すことを防ぎ、システムパフォーマンスの中断を防止するには、Firepower 4100 の出荷時に添付されているアクセサリキットのタイラップとクランプを使用します。Flextronics または Artesyn の電源モジュールと一緒に使用するために 2 種類のタイラップとクランプの組み合わせがあります。

どちらの電源モジュールを使用しているかを確認するには、電源モジュールの上部にあるバンダーの名前を確認します。電源モジュールを取り外すことができない場合は、「FAIL」という文字のすぐ隣の列にある電源モジュールの前面の完全な六角形の通気孔の数を数えます。Flextronics には 5 つの穴があり、Artesyn には 4 つの穴があります。

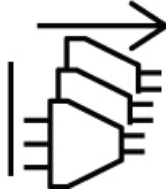
Flextronics の電源モジュールでは黒いタイラップが使用され、Artesyn の電源モジュールではオフホワイトのタイラップが使用されます。黒いクランプはどちらにも使用されません。下の図を参照してください。

安全上の警告

次のコンポーネント交換に関する安全上の警告に注意してください。

**警告 ステートメント 1028—複数の電源**

この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。感電の危険を減らすために、すべての接続を取り外してユニットの電源を切ります。

**警告 ステートメント 1073—ユーザが保守可能な部品なし**

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

**警告 ステートメント 1089—教育を受けた担当者および熟練者の定義**

教育を受けた担当者とは、熟練者から教育やトレーニングを受け、機器を操作する際に必要な予防措置を講じられる人です。

熟練者または資格保持者とは、機器の技術に関するトレーニングを受けているか経験があり、機器を操作する際に潜む危険を理解している人です。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

**警告 ステートメント 1090—熟練者による設置**

この機器の設置、交換、または修理は、熟練者のみが実施できます。熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

**警告 ステートメント 1091—教育を受けた担当者による設置**

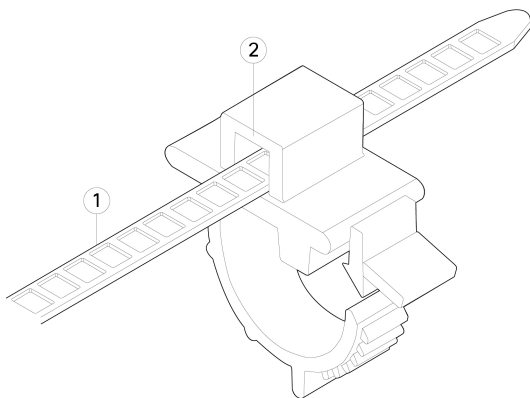
この機器の設置、交換、または修理は、教育を受けた担当者または熟練者のみが実施できます。教育を受けた担当者または熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。

ステップ 1 ループ側を下にしてクランプを保持し、クランプの上のボックス型のチャンネルを通してタイラップをスライドさせて、クランプをタイラップに取り付けます（次の図を参照）。

タイラップの片側に均等に間隔をあけたうねができ、もう一方は滑らかになります。うねのある側が上向きになり、チャンネルのオープン側を通してスライドすることを確認します。タイがスライドするときクリック音が発生します。これは1方向にのみ動きます。タイラップをクランプから取り外すには、ボックス型チャンネルのクローズ側にあるレバーを押して、タイラップをスライドさせて出します。

図 51: クランプのボックスチャンネルを通るタイラップ



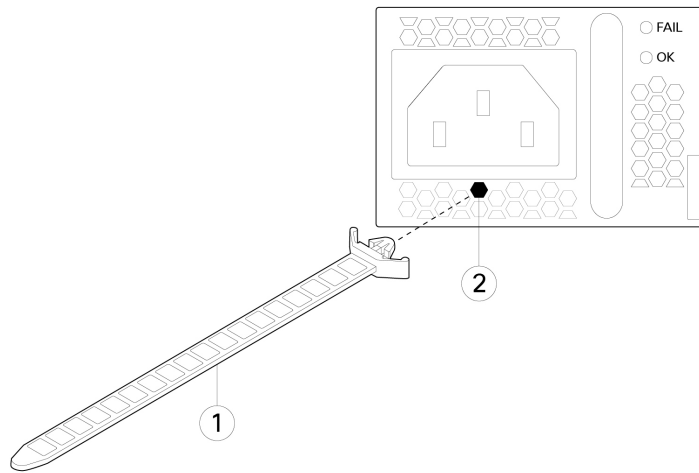
1	タイラップ	2	ボックスチャンネル
----------	-------	----------	-----------

ステップ 2 電源モジュールにクランプを取り付けます。

- a) 電源コネクタ本体のすぐ下のプラグの中央にある電源モジュールの六角形の通気孔に配置します（次の図を参照）。
- b) 六角形の穴にタイラップのスナップ部分を差込みます。
- c) クランプ側を上にして、完全にはまるまでタイラップを押し込みます。

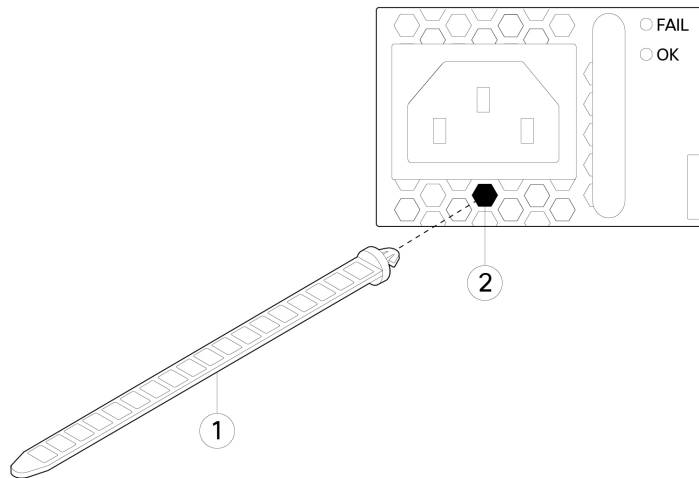
注意 タイラップを損傷することなく一度取り付けると、電源モジュールからタイラップを取り外すことができなくなるため、位置が正しいことを確認します。

図 52: Flextronics 電源モジュール



1 Flextronics タイ ラップ	2 六角形の穴
-----------------------------	----------------

図 53: Artesyn 電源モジュール



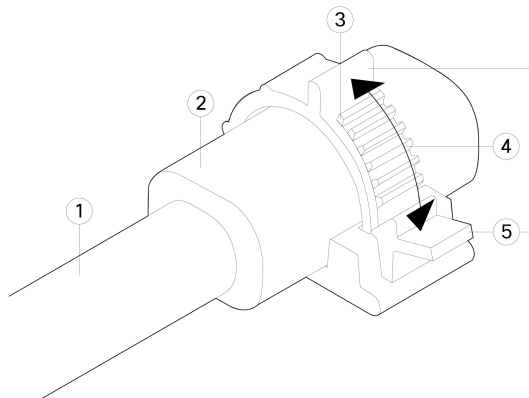
1 Artesyn タイ ラップ	2 六角形の穴
-------------------------	----------------

ステップ 3 クランプの保護 :

- a) 電源の電源コードを差し込み、電源コードの成型部のクランプの周りを覆います。
- b) リング状の歯がクランプの嵌合部とかみ合うようにクランプの端部を一緒に電源に締め付けます。
- c) クランプが成型部にぴったりはまっていることを確認します。

- d) クランプが成型部の前面に対してしっかり固定され、軽く引っばっても電源コードが抜けないように、タイラップ上のクランプの位置を調整します。

図 54: 電源ケーブルの成型部のクランプ



1	電源コード	2	電源コードの成型部
3	締め付けクランプのリング状の歯	4	クランプタブを締め付ける方向
5	クランプリリースタブ		—

ステップ 4 電源コードを取り外す必要がある場合は、クランプのリリースタブを押してリング状のクランプの歯に力を加え、クランプを外して開かせます。これで電源コードからクランプを取り外せます。

FIPS 不透明シールドの取り付け



注意 この手順は暗号担当役員のみが実行する必要があります。



(注) FIPS 不透明シールドによってシャーシのシリアル番号が覆われるため、FIPS 不透明シールドを取り付ける前に、ラベルにシリアル番号をコピーしてシャーシに貼り付ける必要があります。このシリアル番号は、Cisco TAC に電話をするときに必要になります。

始める前に

FIPS 不透明シールドを取り付けるには次が必要です。

- No.1 プラス ドライバ

- FIPS キットに含まれている次のもの
 - 1 つの FIPS 不透明シールド
 - FIPS 不透明シールドをケーブル管理ブラケットに取り付けるために使用する 4 本の 8-32 X 0.375 インチネジ
 - 15 枚の開封明示ラベル (TEL)
- Firepower 4100 アクセサリキットに含まれている次のもの
 - 2 個のケーブル管理ブラケット
 - ケーブル管理ブラケットをスライドレール固定ブラケットに取り付けるために使用する 4 本の 8-32 X 0.375 インチネジ

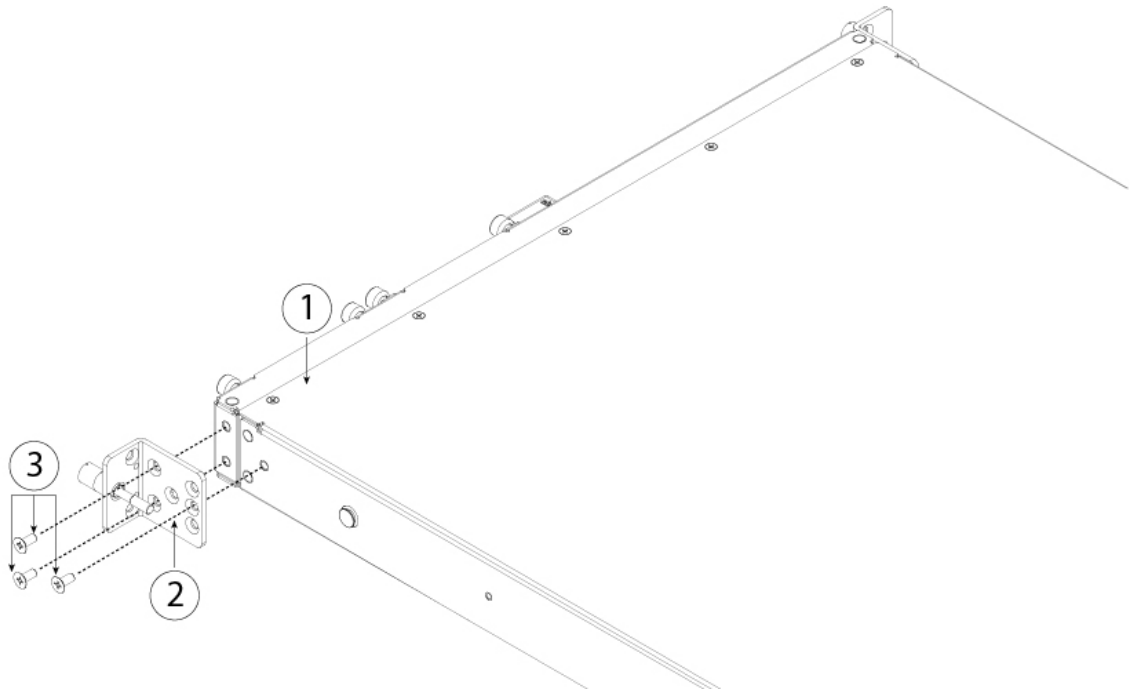
ステップ 1 ラベルにシリアル番号をコピーしてシャーシ (必要に応じて将来使用する場合に簡単に確認できる場所) に貼り付けます。シリアル番号の場所については、[シリアル番号の場所 \(7 ページ\)](#) を参照してください。

ステップ 2 リリース ラッチが掛かるまでシャーシをラックから引き出します。

ステップ 3 アクセサリキットに付属の 6 本の 8-32 X 0.375 インチプラスネジを使用して、シャーシのそれぞれの側にスライドレール固定ブラケットを取り付けます (まだ取り付けていない場合)。

(注) この手順は、「[シャーシのラックマウント \(52 ページ\)](#)」で説明している手順を実行している場合は完了しているはずです。

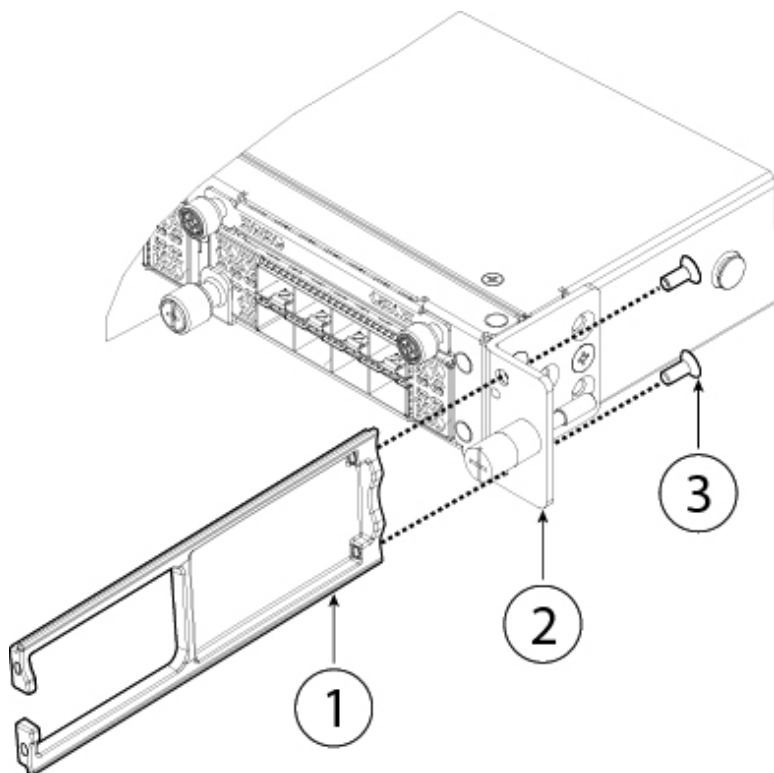
図 55: シャーシ側面へのスライド レール固定ブラケットの取り付け



1	シャーシ	2	スライド レール固定ブラケット
3	8-32 X 0.375 インチプラスネジ (各側面に3本)		

ステップ 4 アクセサリキットに付属の 4 本の 8-32 X 0.375 インチプラスネジを使用して、ケーブル管理ブラケットを各スライドレール固定ブラケットに取り付けます。

図 56: スライド レール固定ブラケットへのケーブル管理ブラケットの取り付け



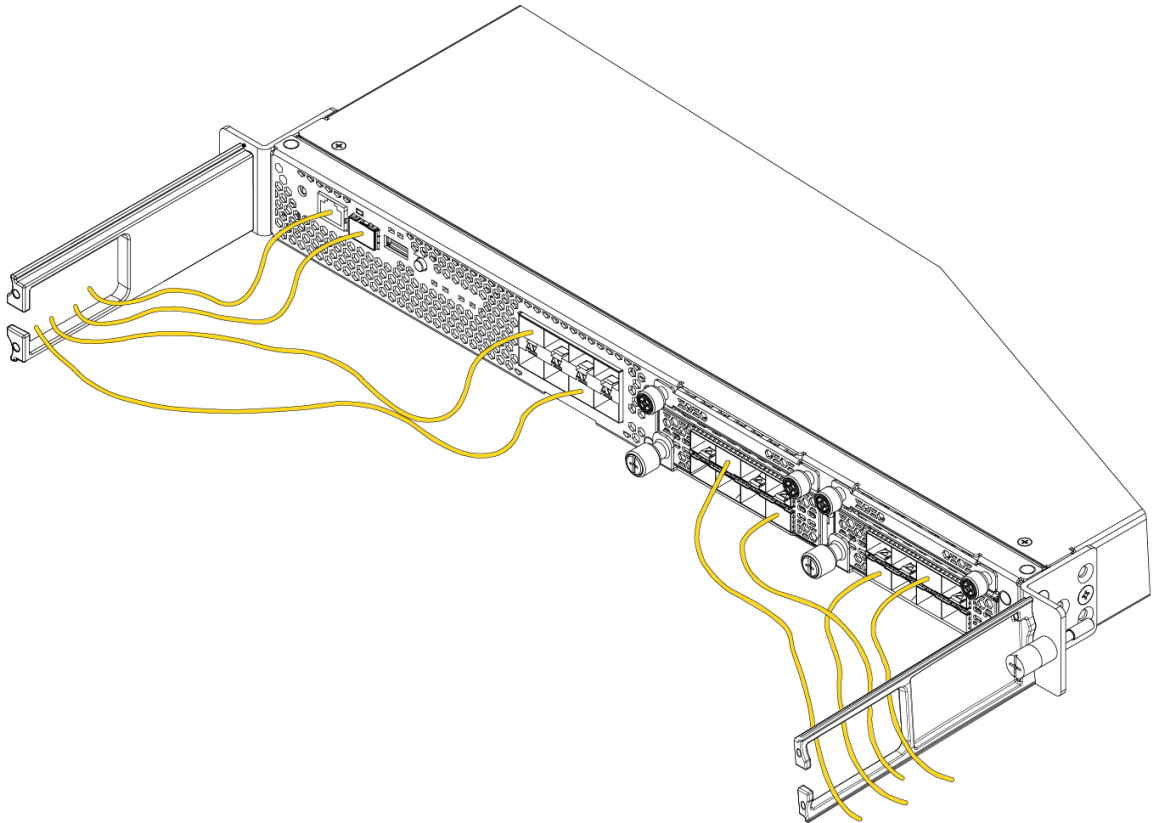
1	ケーブル管理ブラケット	2	スライド レール固定ブラケット
3	8-32 X 0.375インチプラスネジ (各側面に2本)		

ステップ 5 ケーブルをポートに接続します。『Cisco Firepower 4100 Getting Started Guide』[英語]に記載されているデフォルトのソフトウェア設定に従ってケーブルを取り付けます。ケーブル管理ブラケットに通すための十分なたるみがケーブルにあることを確認します (次の手順 6 を参照)。

(注) 製品の初期設置の後に FIPS 不透明シールドを取り付けている場合は、ケーブルがすでに接続されています。接続されているケーブルに、ケーブル管理ブラケットに通すための十分なたるみ (次の手順を参照) がない場合は、アプライアンスの電源を切り、ケーブルを取り外してケーブル取り付けブラケットに通してから、ケーブルを接続しなおして、次の手順 7 に進んでください。

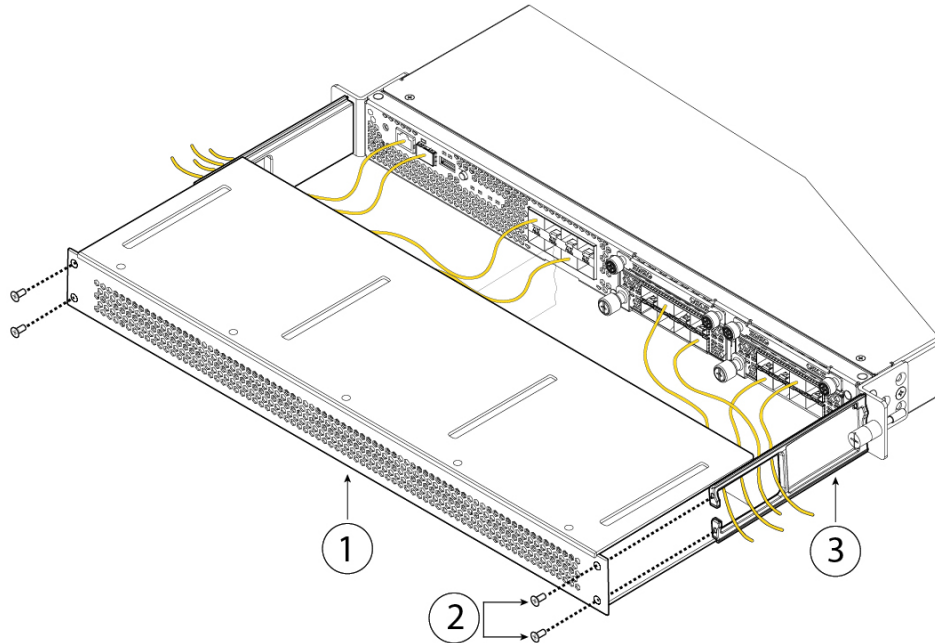
ステップ 6 ケーブルをケーブル管理ブラケットの開口部に通して配線します。

図 57: ケーブル管理ブラケットを介したケーブルの配線



ステップ 7 FIPS キットに付属の 4 本の 8-32 X 0.375 インチプラスネジを使用して、FIPS 不透明シールドをケーブル管理ブラケットに取り付けます。

図 58: ケーブル管理ブラケットへの FIPS 不透明シールドの取り付け



1	FIPS 不透明シールド	2	8-32 X 0.375 インチプラスネジ (各側面に 2 本)
3	ケーブル管理ブラケット		

ステップ 8 15 枚の TEL を貼り付けます。TEL の手順と正しい位置については、『[FIPS 140-2 Non Proprietary Security Policy Level 2 Validation](#)』[英語]の「Tamper Evidence Label (TEL) Placement」(セクション 2.13)を参照してください。

ステップ 9 電源コードをシャーシに接続し、電源コンセントに接続します。

ステップ 10 リア パネルの電源スイッチを押します。

ステップ 11 前面パネルの電源 LED を確認します。電源 LED については、[前面パネル LED](#) (11 ページ)を参照してください。緑の点灯は、シャーシの電源がオンであることを示します。

(注) 電源スイッチをオンからオフに切り替えると、システムの電源が切れるまで数秒かかります。電源 LED がオフになるまで電源ケーブルを抜かないでください。電源スイッチをオフに動かすか電源コードを取り外してシャーシへの電力供給を遮断した後は、少なくとも 10 秒間待機してから電源を再投入してください。

ステップ 12 設定の詳細については、『[Cisco Firepower 4100 Getting Started Guide](#)』[英語]を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。